

(19) 日本国特許庁 (JP)

## (12) 特 許 公 報 (B2)

(11) 特許番号

特許第4295163号  
(P4295163)

(45) 発行日 平成21年7月15日 (2009.7.15)

(24) 登録日 平成21年4月17日 (2009.4.17)

(51) Int.Cl.

F I

G09G 3/30 (2006.01)  
 G09G 3/20 (2006.01)  
 G09G 3/22 (2006.01)  
 H01L 51/50 (2006.01)

G09G 3/30 H  
 G09G 3/30 K  
 G09G 3/20 624B  
 G09G 3/20 641A  
 G09G 3/20 641E

請求項の数 32 (全 31 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願2004-131246 (P2004-131246)  
 (22) 出願日 平成16年4月27日 (2004.4.27)  
 (65) 公開番号 特開2005-157258 (P2005-157258A)  
 (43) 公開日 平成17年6月16日 (2005.6.16)  
 審査請求日 平成16年5月17日 (2004.5.17)  
 (31) 優先権主張番号 2003-084235  
 (32) 優先日 平成15年11月25日 (2003.11.25)  
 (33) 優先権主張国 韓国 (KR)

前置審査

(73) 特許権者 308040351  
 三星モバイルディスプレイ株式会社  
 大韓民国京畿道水原市靈通区▲しん▼洞5  
 75番地  
 (74) 代理人 100083806  
 弁理士 三好 秀和  
 (72) 発明者 申 東 蓉  
 大韓民国ソウル市冠岳區奉天1洞969-  
 37番地

審査官 中村 直行

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 表示装置、有機電界発光表示装置及び表示装置の駆動方法

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

ゲートラインに沿ってR、G、Bの各発光素子を配列して構成された画素をマトリクス状に配置して形成された表示装置において、

前記発光素子の発光を制御する能動素子を備え、

前記能動素子は、前記ゲートラインと、前記ゲートラインに直交したデータライン及び電源ラインとに接続され、前記ゲートラインに沿って隣接する二つの前記発光素子を時分割で駆動し、時分割で駆動する際には1フレームを二つのサブフレームに分割し、前記二つの発光素子はそれぞれ別の前記サブフレームで駆動されることを特徴とする表示装置。

【請求項2】

請求項1記載の表示装置において、

前記サブフレーム内で互いに異なる色を放出する発光素子が同時に発光され、前記サブフレーム内では少なくとも二つ以上の互いに異なる色が放出されることを特徴とする表示装置。

【請求項3】

請求項1記載の表示装置において、

前記二つの発光素子の発光時間を調節して発光される色のホワイトバランスを調節することを特徴とする表示装置。

【請求項4】

請求項1記載の表示装置において、

10

20

前記発光素子は F E Dであることを特徴とする表示装置。

【請求項 5】

請求項 1 記載の表示装置において、

前記発光素子は R、G、B 及び W - E L 素子から選択されることを特徴とする表示装置。

【請求項 6】

請求項 5 記載の表示装置において、

前記二つの E L 素子は、第 1 電極が前記能動素子にそれぞれ連結され、第 2 電極が接地電圧に共通連結されることを特徴とする表示装置。

【請求項 7】

請求項 6 記載の表示装置において、

前記 E L 素子は、ストライプタイプまたは、デルタタイプに配列されることを特徴とする表示装置。

【請求項 8】

請求項 1 記載の表示装置において、

前記能動素子は前記発光素子を駆動するための少なくとも一つ以上のスイッチング素子で構成されることを特徴とする表示装置。

【請求項 9】

請求項 8 記載の表示装置において、

前記能動素子を構成するスイッチング素子は、薄膜トランジスタ、薄膜ダイオード、ダイオード、または T R S で構成されることを特徴とする表示装置。

【請求項 10】

ゲートラインに沿って R、G、B の各 E L 素子を配列して構成された画素をマトリクス状に配置して形成された有機電界発光表示装置において、

前記 E L 素子の発光を制御する能動素子を備え、

前記能動素子は、前記ゲートラインと、前記ゲートラインに直交したデータライン及び電源ラインとに接続され、前記ゲートラインに沿って隣接する二つの前記 E L 素子を時分割で駆動し、時分割で駆動する際には 1 フレームを二つのサブフレームに分割し、前記二つの E L 素子はそれぞれ別の前記サブフレームで駆動されることを特徴とする有機電界発光表示装置。

【請求項 11】

請求項 10 記載の有機電界発光表示装置において、

前記能動素子は、前記二つの E L 素子に共通で連結され、前記 E L 素子を駆動するための駆動手段と、

発光制御信号によって前記二つの E L 素子が時分割的に駆動されるように制御する順次制御手段と、

を有することを特徴とする有機電界発光表示装置。

【請求項 12】

請求項 11 記載の有機電界発光表示装置において、

前記駆動手段は、少なくともデータ信号をスイッチングするための一つまたは、それ以上のスイッチングトランジスタと、

前記データ信号に相応する駆動電流を前記 E L 素子に提供するための一つまたは、それ以上の駆動トランジスタと、

前記データ信号を貯蔵するためのキャパシタと、

を有することを特徴とする有機電界発光表示装置。

【請求項 13】

請求項 12 記載の有機電界発光表示装置において、

前記駆動手段は、前記駆動トランジスタのスレッシュホールド電圧を補償するためのスレッシュホールド電圧補償手段をさらに有することを特徴とする有機電界発光表示装置。

【請求項 14】

請求項 1 1 記載の有機電界発光表示装置において、

前記順次制御手段は、ゲートに第 1 発光制御信号が提供され、ソースが前記駆動手段に連結され、ドレーンが前記二つの E L 素子のうち、一つのアノード電極に連結される第 1 薄膜トランジスターと、

ゲートに第 2 発光制御信号が提供され、ソースが前記駆動手段に連結され、ドレーンが前記二つの E L 素子のうち、他の一つのアノード電極に連結される第 2 薄膜トランジスターと、

で構成されることを特徴とする有機電界発光表示装置。

【請求項 1 5】

請求項 1 1 記載の有機電界発光表示装置において、

前記順次制御手段は、ゲートに発光制御信号が提供され、ソースが前記駆動手段に連結され、ドレーンが前記二つの E L 素子のうち、一つのアノード電極に連結される第 1 薄膜トランジスターと、

ゲートに前記発光制御信号が提供され、ドレーンが前記駆動手段に連結され、ソースが前記二つの E L 素子のうち、他の一つのアノード電極に連結される第 2 トランジスターと、

で構成されることを特徴とする有機電界発光表示装置。

【請求項 1 6】

請求項 1 0 記載の有機電界発光表示装置において、

前記 E L 素子はストライプタイプまたは、デルタタイプに配列されることを特徴とする有機電界発光表示装置。

【請求項 1 7】

ゲートラインに沿って R、G、B の各 E L 素子を配列して構成された画素をマトリクス状に配置して形成された有機電界発光表示装置において、

前記 E L 素子の発光を制御する能動素子を備え、

前記能動素子は、前記ゲートラインと、前記ゲートラインに直交したデータライン及び電源ラインとに接続され、前記ゲートラインに沿って隣接する二つの前記 E L 素子を時分割で駆動し、時分割で駆動する際には 1 フレームを二つのサブフレームに分割し、前記二つの E L 素子はそれぞれ別の前記サブフレームで駆動されており、

ゲートが前記ゲートラインに連結され、ソース/ドレーンが前記データラインに連結される第 1 薄膜トランジスターと、

前記第 1 薄膜トランジスターのドレーン/ソースにゲートが連結され、ソース/ドレーンに前記電源ラインが連結される第 2 薄膜トランジスターと、

前記第 2 薄膜トランジスターのゲートとソース/ドレーンに連結されるキャパシターと、

前記第 2 薄膜トランジスターのドレーン/ソースにソース/ドレーンが連結され、ゲートに第 1 発光制御信号が印加され、前記二つの E L 素子のうち、一つの E L 素子のアノード電極にドレーン/ソースが連結される第 3 薄膜トランジスターと、

前記第 2 薄膜トランジスターのドレーン/ソースにソース/ドレーンが連結され、ゲートに第 2 発光制御信号が印加され、前記二つの E L 素子のうち、他の一つの E L 素子のアノード電極にドレーン/ソースが連結される第 4 薄膜トランジスターと、

を有することを特徴とする有機電界発光表示装置。

【請求項 1 8】

ゲートラインに沿って R、G、B の各 E L 素子を配列して構成された画素をマトリクス状に配置して形成された有機電界発光表示装置において、

前記 E L 素子の発光を制御する能動素子を備え、

前記能動素子は、前記ゲートラインと、前記ゲートラインに直交したデータライン及び電源ラインとに接続され、前記ゲートラインに沿って隣接する二つの前記 E L 素子を時分割で駆動しており、

ゲートが前記ゲートラインに連結され、ソース/ドレーンが前記データラインに連結さ

10

20

30

40

50

れる第 1 薄膜トランジスターと、

前記第 1 薄膜トランジスターのドレーン / ソースにゲートが連結され、ソース / ドレーンに前記電源ラインが連結される第 2 薄膜トランジスターと、

前記第 2 薄膜トランジスターのゲートとソース / ドレーンに連結されるキャパシターと、

前記第 2 薄膜トランジスターのドレーン / ソースにソース / ドレーンが連結され、ゲートに発光制御信号が印加され、前記二つの E L 素子のうち、一つの E L 素子のアノード電極にドレーン / ソースが連結される第 3 薄膜トランジスターと、

前記第 2 薄膜トランジスターのドレーン / ソースにドレーン / ソースが連結され、ゲートに前記発光制御信号が印加され、前記二つの E L 素子のうち、他の一つの E L 素子のアノード電極にソース / ドレーンが連結される第 4 薄膜トランジスターと、

を有することを特徴とする有機電界発光表示装置。

【請求項 19】

ゲートラインに沿って R、G、B の各発光素子を配列して構成された画素をマトリクス状に配置して形成された表示装置において、

前記発光素子の発光を制御する能動素子を備え、

前記能動素子は、前記ゲートラインと、前記ゲートラインに直交したデータライン及び電源ラインとに接続され、前記ゲートラインに沿って隣接する二つの前記発光素子を駆動しており、前記二つの発光素子のうち 1 つを第 1 発光素子グループにグルーピングし、残りの 1 つを第 2 発光素子グループにグルーピングして時分割で駆動し、時分割で駆動する際には 1 フレームを二つのサブフレームに分割し、前記第 1 発光素子グループと前記第 2 発光素子グループは各サブフレームで時分割的に駆動されることを特徴とする表示装置。

【請求項 20】

請求項 19 記載の表示装置において、

前記第 1 発光素子グループと前記第 2 発光素子グループの発光素子が発光される時間を調節して、発光される色のホワイトバランスを調節することを特徴とする表示装置。

【請求項 21】

ゲートラインに沿って R、G、B の各発光素子を配列して構成された画素をマトリクス状に配置して形成された表示装置において、

前記発光素子の発光を制御する能動素子を備え、

前記能動素子は、前記ゲートラインと、前記ゲートラインに直交したデータライン及び電源ラインとに接続され、前記ゲートラインに沿って隣接する二つの前記発光素子を駆動しており、前記二つの発光素子のうち 1 つを第 1 発光素子グループにグルーピングし、残りの 1 つを第 2 発光素子グループにグルーピングして、一定期間毎にいずれかの発光素子グループの発光素子だけが駆動され、前記一定期間は 1 フレームを二つに分割したサブフレームであり、前記第 1 発光素子グループと前記第 2 発光素子グループはそれぞれのサブフレームで駆動されるようにすることを特徴とする表示装置。

【請求項 22】

請求項 21 記載の表示装置において、

各サブフレームで前記第 1 発光素子グループと前記第 2 発光素子グループの発光素子が発光される時間を調節して、発光される色のホワイトバランスを調節することを特徴とする表示装置。

【請求項 23】

請求項 21 記載の表示装置において、

前記第 1 発光素子グループまたは、前記第 2 発光素子グループの発光素子は、前記一定期間毎に順に発光されるかまたは、一括発光されることを特徴とする表示装置。

【請求項 24】

ゲートラインに沿って R、G、B の各 E L 素子を配列して構成された画素をマトリクス状に配置して形成された有機電界発光表示装置において、

前記 E L 素子の発光を制御する能動素子を備え、

前記能動素子は、前記ゲートラインと、発光制御ラインと、前記ゲートラインに直交したデータライン及び電源ラインとに接続され、前記ゲートラインに沿って隣接する二つの前記E L素子を時分割で駆動し、時分割で駆動する際には1フレームを二つのサブフレームに分割し、前記二つのE L素子はそれぞれ別の前記サブフレームで駆動されており、

前記ゲートラインから印加されるスキャン信号により前記データラインから提供されるデータ信号をスイッチングするための一つ以上のスイッチングトランジスターと、

前記スイッチングトランジスターを通じて提供されるデータ信号により前記E L素子を駆動するための一つ以上の駆動トランジスターと、

前記発光制御ラインから提供される発光制御信号により前記E L素子が一定期間ごとに順に駆動されるように制御する一つ以上の薄膜トランジスターと、

を備えることを特徴とする有機電界発光表示装置。

【請求項25】

ゲートラインに沿ってR、G、Bの各E L素子を配列して構成された画素をマトリクス状に配置して形成された有機電界発光表示装置において、

前記E L素子の発光を制御する能動素子を備え、

前記能動素子は、前記ゲートラインと、発光制御ラインと、前記ゲートラインに直交したデータライン及び電源ラインとに接続され、前記ゲートラインに沿って隣接する二つの前記E L素子を時分割で駆動し、時分割で駆動する際には1フレームを二つのサブフレームに分割し、前記二つのE L素子はそれぞれ別の前記サブフレームで駆動されており、

ゲートが前記ゲートラインに連結され、ソース/ドレーンが前記データラインに連結される第1薄膜トランジスターと、

前記第1薄膜トランジスターのドレーン/ソースにゲートが連結され、ソース/ドレーンに前記電源ラインが連結される第2薄膜トランジスターと、

前記第2薄膜トランジスターのゲートとソース/ドレーンに連結されるキャパシターと、

前記第2薄膜トランジスターのドレーン/ソースにソース/ドレーンが連結され、ゲートに第1発光制御信号が印加され、前記二つのE L素子のうち一つのE L素子のアノード電極にドレーン/ソースが連結される第3薄膜トランジスターと、

前記第2薄膜トランジスターのドレーン/ソースにソース/ドレーンが連結され、ゲートに第2発光制御信号が印加され、前記二つのE L素子のうち、他の一つのE L素子のアノード電極にドレーン/ソースが連結される第4薄膜トランジスターと、

を有することを特徴とする有機電界発光表示装置。

【請求項26】

ゲートラインに沿ってR、G、Bの各E L素子を配列して構成された画素をマトリクス状に配置して形成された有機電界発光表示装置において、

前記E L素子の発光を制御する能動素子を備え、

前記能動素子は、前記ゲートラインと、発光制御ラインと、前記ゲートラインに直交したデータライン及び電源ラインとに接続され、前記ゲートラインに沿って隣接する二つの前記E L素子を時分割で駆動しており、

ゲートが前記ゲートラインに連結され、ソース/ドレーンが前記データラインに連結される第1薄膜トランジスターと、

前記第1薄膜トランジスターのドレーン/ソースにゲートが連結され、ソース/ドレーンに前記電源ラインが連結される第2薄膜トランジスターと、

前記第2薄膜トランジスターのゲートとソース/ドレーンに連結されるキャパシターと、

前記第2薄膜トランジスターのドレーン/ソースにソース/ドレーンが連結され、ゲートに発光制御信号が印加され、前記二つのE L素子のうち、一つのE L素子のアノード電極にドレーン/ソースが連結される第3薄膜トランジスターと、

前記第2薄膜トランジスターのドレーン/ソースにドレーン/ソースが連結され、ゲートに前記発光制御信号が印加され、前記二つのE L素子のうち、他の一つのE L素子のア

10

20

30

40

50

ノード電極にソース/ドレインが連結される第4薄膜トランジスタと、  
を有することを特徴とする有機電界発光表示装置。

【請求項27】

多数のゲートラインと、多数の発光制御ラインと、前記ゲートラインと直交する多数のデータライン及び多数の電源ラインと、

前記ゲートライン、前記データライン、前記発光制御ライン及び前記電源ラインのうち、該当するゲートライン、データライン及び電源ラインにそれぞれ連結される多数の画素とを含む画素部と、

前記多数のゲートラインに多数のスキャン信号を提供するためのゲートライン駆動回路と、

前記多数のデータラインにR、G、Bデータ信号を提供するためのデータライン駆動回路と、

前記多数の発光制御ラインに発光制御信号を提供するための発光制御信号発生回路とを備え、

前記画素部の各画素はR、G、Bの各EL素子が前記ゲートラインに沿って配列されており、前記ゲートラインに沿って隣接する二つの前記EL素子は1つの能動素子で駆動され、前記二つのEL素子のうち1つを第1発光素子グループにグルーピングし、残りの1つを第2発光素子グループにグルーピングして、前記発光制御信号により一定期間毎にいずれかの発光素子グループのEL素子だけが前記データ信号に対応して駆動され、前記一定期間は1フレームを二つに分割したサブフレームであり、前記サブフレームごとに前記第1発光素子グループ及び前記第2発光素子グループのいずれかのEL素子が時分割的に発光されて、1フレームの間に所定の色を具現することを特徴とする有機電界発光表示装置。

【請求項28】

請求項27記載の有機電界発光表示装置において、

前記第1発光素子グループまたは、前記第2発光素子グループのEL素子は前記一定期間の間にゲートラインごとに順に発光するか、または一括発光することを特徴とする有機電界発光表示装置。

【請求項29】

多数のゲートラインと、多数の発光制御ラインと、前記ゲートラインと直交する多数のデータライン及び多数の電源ラインと、

前記ゲートライン、前記データライン、前記発光制御ライン及び前記電源ラインのうち、該当するゲートライン、データライン及び電源ラインにそれぞれ連結された多数の画素とを含み、

前記画素のそれぞれはR、G、Bの各発光素子を前記ゲートラインに沿って配列して構成された表示装置の駆動方法において、

前記ゲートラインに沿って隣接する二つの前記発光素子を1つの能動素子で駆動し、前記二つの発光素子のうち1つを第1発光素子グループにグルーピングし、残りの1つを第2発光素子グループにグルーピングして、前記発光制御信号により一定期間毎にいずれかの発光素子グループの発光素子だけが駆動され、前記一定期間は1フレームを二つに分割したサブフレームであり、前記サブフレームごとに前記第1発光素子グループ及び前記第2発光素子グループのいずれかの発光素子が時分割的に発光されて、1フレームの間に所定の色を具現することを特徴とする表示装置の駆動方法。

【請求項30】

請求項29記載の表示装置の駆動方法において、

前記サブフレームごとに発光される前記第1発光素子グループまたは、前記第2発光素子グループは互いに異なる色を放出する二つ以上の発光素子を含み、前記サブフレームごとに互いに異なる色を同時に放出することを特徴とする表示装置の駆動方法。

【請求項31】

請求項29記載の表示装置の駆動方法において、

10

20

30

40

50

前記第 1 発光素子グループまたは、前記第 2 発光素子グループの発光素子は前記サブフレームの間、ゲートラインごとに順に発光されるか、または一括発光されることを特徴とする表示装置の駆動方法。

【請求項 3 2】

多数のゲートラインと、多数の発光制御ラインと、前記ゲートラインと直交する多数のデータライン及び多数の電源ラインと、

前記ゲートライン、前記データライン、前記発光制御ライン及び前記電源ラインのうち、該当するゲートライン、データライン及び電源ラインにそれぞれ連結される多数の画素とを含み、

前記画素のそれぞれは R、G、B の各発光素子を前記ゲートラインに沿って配列して構成された表示装置の駆動方法において、

前記ゲートラインに沿って隣接する二つの前記発光素子を 1 つの能動素子で駆動し、前記二つの発光素子のうち 1 つを第 1 発光素子グループにグルーピングし、残りの 1 つを第 2 発光素子グループにグルーピングして、

前記ゲートラインから提供されるスキャン信号により前記ゲートラインごとに前記第 1 発光素子グループまたは、前記第 2 発光素子グループの発光素子を駆動するためのデータを、前記データラインを通じて書き込みし、

前記書き込まれたデータにより前記第 1 発光素子グループまたは、前記第 2 発光素子グループを一定期間ごとに順に駆動して一括発光させ、前記一定期間は 1 フレームを二つに分割したサブフレームであり、前記サブフレームにはデータを書き込む第 1 期間と発光素子を一括発光させる発光期間とがあることを特徴とする表示装置の駆動方法。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、自己発光型表示装置に関する。更に詳しく説明すると、隣接する二つの画素の R、G、B 発光素子のうち、二つの発光素子を時分割的に駆動する有機電界発光表示装置及びその駆動方法(Pixel circuit in flat panel display device and Driving method thereof)に関する。

【背景技術】

【0002】

最近は、軽量、薄型などの特性から携帯用情報機器に液晶表示装置(LCD)と有機電界発光表示装置(OLED)などがよく使用されている。有機電界発光表示装置は、液晶表示装置と比べて輝度特性及び視野角特性が優れているため次世代平板表示装置として注目を浴びている。

【0003】

通常、アクティブマトリクス有機電界発光表示装置は、一つの画素が R、G、B 単位画素で構成され、各 R、G、B 単位画素は EL 素子を有する。各 EL 素子は、アノード電極とカソード電極との間に各 R、G、B 有機発光層が介在されて、アノード電極とカソード電極に印加される電圧により R、G、B 有機発光層から光を発光する。

【0004】

図 16 は、従来のアクティブマトリクス有機電界発光表示装置の構成を示す図である。図 16 を参照すると、従来のアクティブマトリクス有機電界発光表示装置 10 は、画素部 100、ゲートライン駆動回路 110、データライン駆動回路 120 及び制御部(図示せず)を備える。前記画素部 100 は、前記ゲートライン駆動回路 110 からスキャン信号 S1 - Sm が提供される多数のゲートライン 111 - 11m と、前記データライン駆動回路 120 からデータ信号 DR1、DG1、DB1 - DRn、D Gn、DBn を提供するための多数のデータライン 121 - 12n 及び電源電圧 VDD1 - VDDn を提供する多数の電源ライン 131 - 13n を備える。

【0005】

10

20

30

40

50

前記画素部 1 0 0 は、多数のゲートライン 1 1 1 - 1 1 m、多数のデータライン 1 2 1 - 1 2 n 及び多数の電源ライン 1 3 1 - 1 3 n に連結される多数の画素 P 1 1 - P m n がマトリクス形態で配列される。各画素 P 1 1 - P m n は、三つの単位画素、つまり R、G、B 単位画素 P R 1 1、P G 1 1、P B 1 1 - P R m n、P G m n、P B m n で構成されて、多数のゲートライン、データライン及び電源供給ラインのうち、該当する一つのゲートライン、データライン及び電源供給ラインにそれぞれ連結される。

#### 【 0 0 0 6 】

例えば、画素 P 1 1 は、R 単位画素 P R 1 1、G 単位画素 P G 1 1、B 単位画素 P B 1 1 を備え、多数のゲートライン 1 1 1 - 1 1 m のうち、第 1 スキャン信号 S 1 を提供する第 1 ゲートライン 1 1 1、多数のデータライン 1 2 1 - 1 2 n のうち、第 1 データライン 1 2 1、そして多数の電源ライン 1 3 1 - 1 3 n のうち、第 1 電源ライン 1 3 1 に連結される。

10

#### 【 0 0 0 7 】

すなわち、前記画素 P 1 1 のうち、R 単位画素 P R 1 1 は、第 1 ゲートライン 1 1 1 と第 1 データライン 1 2 1 のうち、R データ信号 D R 1 が提供される R データライン 1 2 1 R、そして第 1 電源ライン 1 3 1 のうち、R 電源ライン 1 3 1 R に連結され、G 単位画素 P G 1 1 は第 1 ゲートライン 1 1 1 と、第 1 データライン 1 2 1 のうち、G データ信号 D G 1 が提供される G データライン 1 2 1 G、そして第 1 電源ライン 1 3 1 のうち、G 電源ライン 1 3 1 G に連結され、B 単位画素 P B 1 1 は第 1 ゲートライン 1 1 1 と、第 1 データライン 1 2 1 のうち、B データ信号 D B 1 が提供される B データライン 1 2 1 B、そして第 1 電源ライン 1 3 1 のうち、B 電源ライン 1 3 1 B に連結される。

20

#### 【 0 0 0 8 】

図 1 7 は、従来の有機電界発光表示装置のピクセル回路を示したものであり、図 1 6 で R、G、B 単位画素で構成される一つの画素 P 1 1 の回路構成図を示したものである。

#### 【 0 0 0 9 】

図 1 7 を参照すると、画素 P 1 1 を構成する R、G、B 単位画素 P R 1 1、P G 1 1、P B 1 1 のうち、R 単位画素 P R 1 1 は第 1 ゲートライン 1 1 1 から印加されるスキャン信号 S 1 がゲートに提供され、ソースに R データライン 1 2 1 R からデータ信号 D R 1 が提供されるスイッチングトランジスタ M 1 \_\_ R と、前記スイッチングトランジスタ M 1 \_\_ R のドレーンにゲートが連結され、ソースに電源ライン 1 3 1 R から電源電圧 V D D 1 が提供される駆動トランジスタ M 2 \_\_ R と、前記駆動トランジスタ M 2 \_\_ R のゲートとソースに連結されるキャパシタ C 1 \_\_ R と、前記駆動トランジスタ M 2 \_\_ R のドレーンにアノードが連結され、カソードが接地電圧 V S S に連結される R - E L 素子 E L 1 \_\_ R で構成される。

30

#### 【 0 0 1 0 】

これと同様に、G 単位画素 P G 1 1 は、第 1 ゲートライン 1 1 1 から印加されるスキャン信号 S 1 がゲートに提供され、ソースに G データライン 1 2 1 G からデータ信号 D G 1 が提供されるスイッチングトランジスタ M 1 \_\_ G と、前記スイッチングトランジスタ M 1 \_\_ G のドレーンにゲートが連結され、ソースに電源ライン 1 3 1 G から電源電圧 V D D 1 が提供される駆動トランジスタ M 2 \_\_ G と、前記駆動トランジスタ M 2 \_\_ G のゲートとソースに連結されるキャパシタ C 1 \_\_ G と、前記駆動トランジスタ M 2 \_\_ G のドレーンにアノードが連結され、カソードが接地電圧 V S S に連結される G - E L 素子 E L 1 \_\_ G で構成される。

40

#### 【 0 0 1 1 】

また、B 単位画素 P B 1 1 は、第 1 ゲートライン 1 1 1 から印加されるスキャン信号 S 1 がゲートに提供され、ソースに B データライン 1 2 1 B からデータ信号 D B 1 が提供されるスイッチングトランジスタ M 1 \_\_ B と、前記スイッチングトランジスタ M 1 \_\_ B のドレーンにゲートが連結され、ソースに電源ライン 1 3 1 B から電源電圧 V D D 1 が提供される駆動トランジスタ M 2 \_\_ B と、前記駆動トランジスタ M 2 \_\_ B のゲートとソースに連結されるキャパシタ C 1 \_\_ B と、前記駆動トランジスタ M 2 \_\_ B のドレーン

50



にアノードが連結され、カソードが接地電圧  $V_{SS}$  に連結される  $B - EL$  素子  $EL1\_B$  で構成される。

【0012】

前述のピクセル回路の動作を見ると、ゲートライン 111 にスキャン信号  $S1$  が印加されると、画素  $P11$  を構成する  $R$ 、 $G$ 、 $B$  単位画素のスイッチングトランジスター  $M1\_R$ 、 $M1\_G$ 、 $M1\_B$  が駆動され、 $R$ 、 $G$ 、 $B$  データライン 121  $R$ 、121  $G$ 、121  $B$  から  $R$ 、 $G$ 、 $B$  データ  $DR1$ 、 $DG1$ 、 $DB1$  が駆動トランジスター  $M2\_R$ 、 $M2\_G$ 、 $M2\_B$  のゲートにそれぞれ印加される。

【0013】

前記駆動トランジスター  $M2\_R$ 、 $M2\_G$ 、 $M2\_B$  は、ゲートに印加されるデータ信号  $DR1$ 、 $DG1$ 、 $DB1$  と  $R$ 、 $G$ 、 $B$  電源ライン 131  $R$ 、131  $G$ 、131  $B$  からそれぞれ提供される電源電圧  $V_{DD1}$  との差に相応する駆動電流を  $EL$  素子  $EL1\_R$ 、 $EL1\_G$ 、 $EL1\_B$  に提供する。各  $EL$  素子  $EL1\_R$ 、 $EL1\_G$ 、 $EL1\_B$  は、駆動トランジスター  $M2\_R$ 、 $M2\_G$ 、 $M2\_B$  を通じて印加される駆動電流により駆動されて画素  $P11$  が駆動される。キャパシター  $C1\_R$ 、 $C1\_G$ 、 $C1\_B$  は、各  $R$ 、 $G$ 、 $B$  データライン 121  $R$ 、121  $G$ 、121  $B$  に印加されるデータ信号  $DR1$ 、 $DG1$ 、 $DB1$  を貯蔵するための手段である。

【0014】

前述したような構成を有する従来の有機電界発光表示装置の動作を図 18 の駆動波形図を参照して説明すると次のようになる。

【0015】

まず、第 1 ゲートライン 111 にスキャン信号  $S1$  が印加されると、前記第 1 ゲートライン 111 が駆動し、前記第 1 ゲートライン 111 に連結された画素  $P11 - P1n$  が駆動する。

【0016】

つまり、第 1 ゲートライン 111 に印加されるスキャン信号  $S1$  により第 1 ゲートライン 111 に連結された画素  $P11 - P1n$  の  $R$ 、 $G$ 、 $B$  単位画素  $PR11 - PR1n$ 、 $PG11 - PG1n$ 、 $PB11 - PB1n$  のスイッチングトランジスターが駆動する。スイッチングトランジスターの駆動により、第 1 データライン 121 ないし第  $n$  データライン 12  $n$  を構成する  $R$ 、 $G$ 、 $B$  データライン 121  $R - 12nR$ 、121  $G - 12nG$ 、121  $B - 12nB$  から  $R$ 、 $G$ 、 $B$  データ信号  $D(S1)DR1 - DRn$ 、 $DG1 - DGn$ 、 $DB1 - DBn$  が  $R$ 、 $G$ 、 $B$  単位画素の駆動トランジスターのゲートに同時にそれぞれ印加される。

【0017】

$R$ 、 $G$ 、 $B$  単位画素の駆動トランジスターは、 $R$ 、 $G$ 、 $B$  データライン 121  $R - 12nR$ 、121  $G - 12nG$ 、121  $B - 12nB$  にそれぞれ印加される  $R$ 、 $G$ 、 $B$  データ信号  $D(S1)DR1 - DRn$ 、 $DG1 - DGn$ 、 $DB1 - DBn$  に相応な駆動電流を  $R$ 、 $G$ 、 $B - EL$  素子に提供する。従って、第 1 ゲートライン 111 に連結される画素  $P11 - P1n$  の  $R$ 、 $G$ 、 $B$  単位画素  $PR11 - PR1n$ 、 $PG11 - PG1n$ 、 $PB11 - PB1n$  を構成する  $EL$  素子は、第 1 ゲートライン 111 にスキャン信号  $S1$  が印加されると、同時に駆動する。

【0018】

これと同様に、第 2 ゲートライン 112 を駆動するためのスキャン信号  $S2$  が印加されると、第 2 ゲートライン 112 に連結される画素  $P21 - P2n$  の  $R$ 、 $G$ 、 $B$  単位画素  $PR21 - PR2n$ 、 $PG21 - PG2n$ 、 $PB21 - PB2n$  には、第 1 データライン 121 ないし第  $n$  データライン 12  $n$  を構成する  $R$ 、 $G$ 、 $B$  データライン 121  $R - 12nR$ 、121  $G - 12nG$ 、121  $B - 12nB$  からデータ信号  $D(S2)DR1 - DRn$ 、 $DG1 - DGn$ 、 $DB1 - DBn$  が印加される。

【0019】

第 2 ゲートライン 112 に連結される画素  $P21 - P2n$  の  $R$ 、 $G$ 、 $B$  単位画素  $PR2$

10

20

30

40

50

1 - P R 2 n、P G 2 1 - P G 2 n、P B 2 1 - P B 2 nを構成するE L素子がデータ信号D ( S 2 ) D R 1 - D R n、D G 1 - D G n、D B 1 - D B nに相応な駆動電流により同時に駆動する。

【 0 0 2 0 】

このような動作を繰り返して最終的にm番目のゲートライン1 1 mにスキャン信号S mが印加されると、R、G、Bデータライン1 2 1 R - 1 2 n R、1 2 1 G - 1 2 n G、1 2 1 B - 1 2 n Bに印加されるR、G、Bデータ信号D ( S m ) D R 1 - D R n、D G 1 - D G n、D B 1 - D B nによりm番目のゲートライン1 1 mに連結される画素P m 1 - P m nのR、G、B単位画素P R m 1 - P R m n、P G m 1 - P G m n、P B m 1 - P B m nを構成するE L素子が同時に駆動される。

10

【 0 0 2 1 】

従って、第1ゲートライン1 1 1から第mゲートライン1 1 mに順にスキャン信号S 1 - S mが印加されると、各ゲートライン1 1 1 - 1 1 mに連結される画素( P 1 1 - P 1 n ) - ( P m 1 - P m n )が順に駆動され、1フレーム1 Fの間、画素を駆動して画像をディスプレイするようになる。

【 0 0 2 2 】

しかし、前述したような構成を有する有機電界発光表示装置は、各画素が三つのR、G、B単位画素で構成され、各R、G、B単位画素ごとにR、G、B - E L素子を駆動させるための駆動素子、すなわち、スイッチング薄膜トランジスター及び駆動薄膜トランジスターとキャパシターがそれぞれ配列され、各駆動素子にデータ信号と電源( E L V D D )

20

【 発明の開示 】

【 発明が解決しようとする課題 】

【 0 0 2 3 】

従って、各画素ごとに三つのデータライン及び三つの電源ラインが配置され、三つのスイッチング薄膜トランジスターと三つの駆動薄膜トランジスターの、少なくとも六つのトランジスターと三つのキャパシターが要求される。一方、各画素が発光制御信号によりコントロールされる場合には、発光制御信号を提供するための別途の発光制御ラインが必要である。従来の表示装置は、各画素ごとに多数の配線と多数の素子が配列されることにより回路構成が複雑となり、それによって欠陥も発生しやすくなり収率が低下するという問題点がある。

30

【 0 0 2 4 】

また、表示装置が更に高精細化されることにより各画素の面積が減少し、それによって、一つの画素にたくさんの要素を配列することが難しいだけでなく、開口率が減少するという問題点がある。

【 0 0 2 5 】

本発明の目的は、高精細に適した有機電界発光表示装置のピクセル回路及びその駆動方法を提供することにある。

本発明の他の目的は、開口率及び収率を向上させることができる有機電界発光表示装置のピクセル回路及びその駆動方法を提供することにある。

40

本発明の更に他の目的は、画素構成及び配線を単純化することができる有機電界発光表示装置のピクセル回路及びその駆動方法を提供することにある。

【 課題を解決するための手段 】

【 0 0 2 6 】

前述したような目的を達成するために、本発明は、一定区間ごとに所定の色を具現する表示装置において、それぞれ一定区間内で一つの色を放出する少なくとも2個以上の発光素子を備える多数の画素を含み、多数の画素のうち、隣接する二つの画素の発光素子のうち、二つの発光素子の一つの能動素子により一定区間内の一定期間ごとに時分割的に駆動されて、前記一定区間で所定の色を具現する表示装置を提供する。

【 0 0 2 7 】

50

前記一定区間は1フレームであり、一定期間はサブフレームとして、前記1フレームは、二つのサブフレームに分割され、二つの発光素子は、1フレーム内で各サブフレームごとに時分割的に駆動される。前記サブフレーム内で互いに異なる色を放出する発光素子が同時に発光されて前記サブフレーム内では、少なくとも2個以上の互いに異なる色が放出される。前記発光素子はF E Dであるか、R、G、BまたはW - E L素子である。前記発光素子がE L素子である場合、二つのE L素子は第1電極が前記能動素子にそれぞれ連結され、第2電極が接地電圧に共通で連結されて、前記E L素子はストライプタイプまたは、デルタタイプに配列される。前記能動素子は、前記発光素子を駆動するための少なくとも一つ以上のスイッチング素子で構成される。前記能動素子を構成するスイッチング素子は、薄膜トランジスター、薄膜ダイオード、ダイオード、またはT R Sで構成される。

10

**【0028】**

また、本発明はそれぞれ一定区間で一つの色を放出する少なくとも二つ以上のE L素子を備える多数の画素を含み、多数の画素のうち、隣接する二つの画素のE L素子のうち、二つのE L素子は一つの能動素子により一定区間の一定期間ごとに時分割的に駆動されて、前記一定期間内に互いに異なる色を放出するE L素子が同時に駆動されて少なくとも二つ以上の色を放出する表示装置を提供する。

**【0029】**

前記能動素子は前記二つ以上のE L素子に共通で連結されて前記E L素子を駆動するための駆動手段と、発光制御素子信号によって前記二つのE L素子が順に駆動されるように制御する順次制御手段とを含む。前記駆動手段は少なくともデータ信号をスイッチングするための一つまたは、それ以上のスイッチングトランジスターと、前記データ信号に相応な駆動電流を前記E L素子に提供するための一つまたは、それ以上の駆動トランジスターと、前記データ信号を貯蔵するためのキャパシターとを含む。前記駆動手段は前記駆動トランジスターのスレッシュホールド電圧を補償するためのスレッシュホールド電圧補償手段をさらに含む。

20

**【0030】**

前記順次制御手段は、ゲートに第1発光制御信号が提供され、ソースが前記駆動手段に連結されてドレーンが二つのE L素子のうち、一つのアノード電極に連結される第1薄膜トランジスターと、ゲートに第2発光制御信号が提供されソースが前記駆動手段に連結され、ドレーンが二つのE L素子のうち、他の一つのアノード電極に連結される第2薄膜トランジスターと、で構成される。また、前記順次制御手段はゲートに発光制御信号が提供され、ソースが前記駆動手段に連結されて、ドレーンが二つのE L素子のうち、一つのアノード電極に連結される第1薄膜トランジスターと、ゲートに前記発光制御信号が提供されドレーンが前記駆動手段に連結され、ソースが二つのE L素子のうち、他の一つのアノード電極に連結される第2薄膜トランジスターとで構成される。

30

**【0031】**

また、本発明は、それぞれ一定区間で一つの色を放出する少なくとも二つ以上のE L素子を備える多数の画素を含み、多数の画素のうち隣接する二つの画素のE L素子のうち、二つのE L素子は一つの能動素子により一定区間の一定期間ごとに時分割的に駆動され、前記能動素子はゲートがゲートラインに連結され、ソース/ドレーンがデータラインに連結される第1薄膜トランジスターと、前記第1薄膜トランジスターのドレーン/ソースにゲートが連結され、ソース/ドレーンに電源ラインが連結される第2薄膜トランジスターと、前記第2薄膜トランジスターのゲートとソース/ドレーンに連結されるキャパシターと、前記第2薄膜トランジスターのドレーン/ソースにソース/ドレーンが連結され、ゲートに第1発光制御信号が印加され、二つのE L素子のうち、一つのエ L素子のアノード電極にドレーン/ソースが連結される第3薄膜トランジスターと、前記第2薄膜トランジスターのドレーン/ソースにソース/ドレーンが連結され、ゲートに第2発光制御信号が印加され、二つのE L素子のうち、他の一つのエ L素子のアノード電極にドレーン/ソースが連結される第4薄膜トランジスターとを含む有機電界発光表示装置を提供する。

40

**【0032】**

50

また、本発明は、それぞれ一定区間内で一つの色を放出する少なくとも二つ以上のＥＬ素子を備える多数の画素を含み、多数の画素のうち隣接する二つの画素のＥＬ素子のうち、二つのＥＬ素子は一つの能動素子により一定区間内の一定期間ごとに時分割的に駆動され、前記能動素子はゲートがゲートラインに連結され、ソース／ドレインがデータラインに連結される第１薄膜トランジスターと、前記第１薄膜トランジスターのドレイン／ソースにゲートが連結され、ソース／ドレインに電源ラインが連結される第２薄膜トランジスターと、前記第２薄膜トランジスターのゲートとソース／ドレインに連結されるキャパシターと、前記第２薄膜トランジスターのドレイン／ソースにソース／ドレインが連結され、ゲートに発光制御信号が印加され、二つのＥＬ素子のうち、一つのＥＬ素子のアノード電極にドレイン／ソースが連結される第３薄膜トランジスターと、前記第２薄膜トランジスターのドレイン／ソースにドレイン／ソースが連結され、ゲートに前記発光制御信号が印加されて、二つのＥＬ素子のうち、他の一つのＥＬ素子のアノード電極にソース／ドレインが連結される第４薄膜トランジスターとを含む有機電界発光表示装置を提供する。

10

## 【００３３】

また、本発明は、一定区間ごとに所定の色を具現する表示装置において、それぞれ一定区間内で一つの色を放出する少なくとも二つ以上の発光素子を備える多数の画素を含み、多数の画素のうち隣接する二つの画素の二つ以上の発光素子のうち、一部発光素子は第１発光素子グループにグルーピングされ、残りの発光素子は第２発光素子グループにグルーピングされて、前記第１発光素子グループと第２発光素子グループは前記一定区間内で時分割的に駆動され、前記一定区間で所定の色を具現する表示装置を提供する。

20

## 【００３４】

前記一定区間は１フレームであり、前記１フレームは二つのサブフレームに分割され、第１発光素子グループと第２発光素子グループは各サブフレームで時分割的に駆動され、前記第１発光素子グループと第２発光素子グループの発光素子が発光される時間を調節して、前記具現される所定色のホワイトバランスを調節する。前記第１発光素子グループと第２発光素子グループの発光素子は、隣接する二つの画素の発光素子のうち、各素子の少なくとも二つの発光素子のうち、少なくとも一つ以上が発光素子にグルーピングされる。

## 【００３５】

また、本発明は一定区間ごとに所定の色を具現する表示装置において、それぞれ一定区間内で一つの色を放出する少なくとも二つ以上の発光素子を備える多数の画素を含み、多数の画素のうち隣接する二つの画素の少なくとも二つ以上の発光素子のうち、一部発光素子は第１発光素子グループにグルーピングされ、残りの発光素子は第２発光素子グループにグルーピングされて、前記一定区間内の一定期間の間、前記第１発光素子グループと第２発光素子グループのうち、一つの発光素子グループの発光素子だけが駆動されて前記一定区間内で所定の色が具現される表示装置を提供する。

30

## 【００３６】

また、本発明は多数のゲートライン、多数のデータライン、多数の発光制御ライン及び多数の電源ラインと、前記多数のゲートライン、データライン、発光制御ライン及び電源ラインのうち、該当するゲートライン、データライン及び電源ラインにそれぞれ連結され、それぞれ一定区間内で一つの色を放出する少なくとも二つ以上のＥＬ素子を備える多数の画素を含み、多数の画素のうち隣接する二つの画素のＥＬ素子のうち、二つのＥＬ素子は一つの能動素子により一定区間内の一定期間ごとに時分割的に駆動されて、前記能動素子は該当するゲートラインから印加されるスキャン信号により前記該当するデータラインから提供されるデータ信号をスイッチングするための一つ以上のスイッチングトランジスターと、前記スイッチングトランジスターを通じて提供されるデータ信号により、前記ＥＬ素子を駆動するための一つ以上の駆動トランジスターと、前記多数の発光制御ラインのうち、該当する少なくとも一つの発光制御ラインから提供される少なくとも一つの発光制御信号により前記ＥＬ素子が一定期間ごとに時分割的に駆動されるように制御する一つ以上の薄膜トランジスターとを備える有機電界発光表示装置を提供する。

40

## 【００３７】

50

また、本発明は、多数のゲートライン、多数のデータライン、多数の発光制御ライン及び多数の電源ラインと、前記多数のゲートライン、データライン、発光制御ライン及び電源ラインのうち、該当するゲートライン、データライン及び電源ラインにそれぞれ連結され、それぞれ一定区間内で一つの色を放出する少なくとも二つ以上のE L素子を備える多数の画素を含み、多数の画素のうち隣接する二つの画素のE L素子のうち、二つのE L素子は一つの能動素子により一定区間内の一定期間ごとに時分割的に駆動され、前記能動素子はゲートがゲートラインに連結され、ソース/ドレーンがデータラインに連結される第1薄膜トランジスターと、前記第1薄膜トランジスターのドレーン/ソースにゲートが連結され、ソース/ドレーンに電源ラインが連結される第2薄膜トランジスターと、前記第2薄膜トランジスターのゲートとソース/ドレーンに連結されるキャパシターと、前記第2薄膜トランジスターのドレーン/ソースにソース/ドレーンが連結され、ゲートに第1発光制御信号が印加されて、二つのE L素子のうち、一つのE L素子のアノード電極にドレーン/ソースが連結される第3薄膜トランジスターと、前記第2薄膜トランジスターのドレーン/ソースにソース/ドレーンが連結され、ゲートに第2発光制御信号が印加されて、二つのE L素子のうち、もう一つのE L素子のアノード電極にドレーン/ソースが連結される第4薄膜トランジスターとを含む有機電界発光表示装置を提供する。

10

## 【0038】

また、本発明は、多数のゲートライン、多数のデータライン多数の発光制御ライン及び多数の電源ラインと、前記多数のゲートライン、データライン、発光制御ライン及び電源ラインのうち、該当するゲートライン、データライン及び電源ラインにそれぞれ連結され、それぞれ一定区間内で一つの色を放出する少なくとも二つ以上のE L素子を備える多数の画素を含み、多数の画素のうち、隣接する二つの画素のE L素子のうち、二つのE L素子は一つの能動素子により一定区間内の一定期間ごとに時分割的に駆動され、前記能動素子はゲートがゲートラインに連結され、ソース/ドレーンがデータラインに連結される第1薄膜トランジスターと、前記第1薄膜トランジスターのドレーン/ソースにゲートが連結され、ソース/ドレーンに電源ラインが連結される第2薄膜トランジスターと、前記第2薄膜トランジスターのゲートとソース/ドレーンに連結されるキャパシターと、前記第2薄膜トランジスターのドレーン/ソースにソース/ドレーンが連結され、ゲートに発光制御信号が印加されて、二つのE L素子のうち、一つのE L素子のアノード電極にドレーン/ソースが連結される第3薄膜トランジスターと、前記第2薄膜トランジスターのドレーン/ソースにドレーン/ソースが連結され、ゲートに前記発光制御信号が印加されて、二つのE L素子のうち、もう一つのE L素子のアノード電極にソース/ドレーンが連結される第4薄膜トランジスターとを含む有機電界発光表示装置を提供する。

20

30

## 【0039】

また、本発明は多数のゲートライン、多数のデータライン、多数の発光制御ライン及び多数の電源ラインと、前記多数のゲートライン、データライン、発光制御ライン及び電源ラインのうち、該当するゲートライン、データライン及び電源ラインにそれぞれ連結される多数の画素を含む画素部と、前記多数のゲートラインで多数のスキャン信号を提供するためのゲートライン駆動回路と、前記多数のデータラインでR、G、Bデータ信号を提供するためのデータライン駆動回路と、前記多数の発光制御ラインで発光制御信号を提供するための発光制御信号発生回路とを備え、前記画素部の各画素R、G、B発光素子を備え、多数の画素のうち、隣接する二つの画素のR、G、B発光素子のうち、一部の発光素子は第1発光素子グループにグルーピングされ、残りの発光素子は第2素子グループにグルーピングされて、前記一定区間内の一定期間の間、前記発光制御信号により、前記第1発光素子グループと第2発光素子グループのうち、一つの発光素子グループの発光素子だけが前記データ信号に対応して駆動される有機電界発光表示装置を提供する。

40

## 【0040】

また、本発明は、多数のゲートライン、多数のデータライン、多数の発光制御ライン及び多数の電源ラインと、多数のゲートライン、データライン発光制御ライン及び電源ラインのうち、該当するゲートライン、データライン及び電源ラインにそれぞれ連結される多

50

数の画素とを含み、各画素は少なくとも R、G、B 発光素子を備える表示装置を駆動する方法において、多数の画素のうち、隣接する二つの画素の R、G、B 発光素子のうち、一部の発光素子を第 1 発光素子グループにグルーピングし、残りの発光素子を第 2 発光素子グループにグルーピングし、前記一定区間内で前記第 1 発光素子グループと第 2 発光素子グループのうち、一つの発光素子グループの発光素子を駆動し、前記一定区間内で残りの発光素子グループの発光素子を駆動することを含む表示装置の駆動方法を提供する。前記表示装置の駆動方法において、前記第 1 発光素子グループまたは、第 2 発光素子グループの発光素子は前記一定区間の間、ゲートラインごとに順に発光されるか、または一括発光される。

#### 【0041】

10

また、本発明は、多数のゲートライン、データライン、発光制御ライン及び電源ラインのうち、該当されるゲートライン、データライン及び電源ラインにそれぞれ連結される多数の画素とを含み、各画素は少なくとも R、G、B 発光素子を備える表示装置を駆動する方法において、多数の画素のうち、隣接する二つの画素の R、G、B 発光素子のうち、一部の発光素子を第 1 発光素子グループにグルーピングし、残りの発光素子を第 2 発光素子グループにグルーピングし、一定区間の一定期間内の、第 1 期間の間にゲートラインから提供されるスキャン信号により、ゲートラインごとに前記第 1 発光素子グループまたは、第 2 発光素子グループの発光素子を駆動するためのデータをデータラインを通じて書き込みし、前記一定区間の一定期間内の第 2 期間の間、書き込みされたデータにより第 1 発光素子グループまたは、第 2 発光素子グループの発光素子を一括発光させることを含み、前記第 1 発光素子グループまたは、第 2 発光素子グループは一定区間の一定期間ごとに順に駆動する表示装置の駆動方法を提供する。

20

#### 【発明の効果】

#### 【0042】

前述したように本発明の実施例による有機電界発光表示装置は、隣接する二つの R、G、B - EL 素子のうち、二つの駆動薄膜トランジスタとスイッチング薄膜トランジスタを共有して時分割的に駆動されるので高精細化が可能であり、素子及び配線数を減少させ開口率及び収率を向上させることができる。

#### 【発明を実施するための最良の形態】

#### 【0043】

30

以下、本発明の実施例を添付された図面を参照して説明すると次のようである。

#### 【実施例 1】

#### 【0044】

図 1 は、本発明の第 1 実施例による有機電界発光表示装置のブロック構成図を示したものである。図 1 を参照すると、第 1 実施例による有機電界発光表示装置 50 は、画素部 500、ゲートライン駆動回路 510、データライン駆動回路 520 及び発光制御信号発生回路 590 を備える。前記ゲートライン駆動回路 510 は、前記画素部 500 のゲートラインにスキャン信号 S1 - Sm を 1 フレームの間、順に発生する。前記データライン駆動回路 520 は、前記画素部 500 のデータラインに R、G、B データ信号 D1a - D1c ~ Dna - Dnc を 1 フレームの間、スキャン信号が印加されるたびに順に提供する。前記発光制御信号発生回路 590 は、画素部 500 の発光制御ラインに R、G、B - EL 素子の発光を制御するための発光制御信号 EC\_\_11、21 - EC\_\_1m、2m を 1 フレームの間、スキャン信号が印加されるたびに順に発生する。

40

#### 【0045】

図 3 は、図 1 に示された本発明の第 1 実施例による有機電界発光表示装置において、画素部のブロック構成の一例を示したものである。

#### 【0046】

図 3 を参照すると、前記画素部 500 は、前記ゲートライン駆動回路 510 からスキャン信号 S1 - Sm がそれぞれ提供される多数のゲートライン 511 - 51m と、前記データライン駆動回路 520 からデータ信号 D1a - D1c ~ Dna - Dnc がそれぞれ提供

50

される多数のデータライン521a - 521c ~ 52na - 52ncと、前記発光制御信号発生回路590から発光制御信号EC\_\_11、EC\_\_21 - EC\_\_1m、2mがそれぞれ提供される多数の発光制御ライン591a、591b - 59ma、59mb及び電源電圧VDD1a - VDD1c ~ VDDna - VDDncを提供する多数の電源ライン531a - 531c ~ 53na - 53ncを備える。

#### 【0047】

前記画素部500は、多数のゲートライン511 - 51m、多数のデータライン521a - 521c ~ 52na - 52nc、多数の発光制御ライン591a、591b - 59ma、59mb及び多数の電源ライン531a - 531c ~ 53na - 53ncに連結されて、マトリクス形態で配列される多数の画素P11 - Pm2nをさらに含む。多数の画素P11 - Pm2nのうちゲートラインに沿って隣接した二つの画素P11、P12 ~ Pm2n - 1、Pm2nは多数のゲートライン511 - 51mのうち該当する一つのゲートライン、多数のデータライン521a - 521c ~ 52na - 52ncのうち該当する三つのデータライン、多数の発光制御ライン591a、591b ~ 59ma - 59mbのうち該当する二つの発光制御ライン、そして多数の電源ライン531a - 531c ~ 53na - 53ncのうち該当する三つの電源ラインに連結される。

#### 【0048】

例えば、隣接する二つの画素P11、P12は、多数のゲートライン511 - 51mのうち第1スキャン信号S1を提供するゲートライン511、多数のデータライン521a - 521c ~ 52na - 52ncのうちデータ信号D1a - D1cを提供するデータライン521a - 521c、多数の発光制御ライン591a、591b ~ 59ma、59mbのうち発光制御信号EC\_\_11、EC\_\_21を発生する発光制御ライン591a、591b、そして多数の電源ライン531a - 531c ~ 53na - 53ncのうち電源ライン531a - 531cに連結される。

#### 【0049】

図5は、図3に示された本発明の第1実施例による有機電界発光表示装置において、隣接する二つの画素に対するピクセル回路を概略的に示したブロック構成図である。図5は、多数の画素のうち隣接する二つの画素P11、P12に対して示したものである。

#### 【0050】

図5を参照すると、隣接する二つの画素P11、P12は、R、G、B - EL素子EL1\_\_R、EL1\_\_G、EL1\_\_B、EL2\_\_R、EL2\_\_G、EL2\_\_Bを備える表示素子560と、前記R、G、B - EL素子EL1\_\_R、EL1\_\_G、EL1\_\_B、EL2\_\_R、EL2\_\_G、EL2\_\_Bを駆動するための第1能動素子570a、第2能動素子570b及び第3能動素子570cを備える。第1能動素子570aは、ゲートライン511、データライン521a、発光制御ライン591a、591b及び電源ライン531aに連結され、第2能動素子570bは、ゲートライン511、データライン521b、発光制御ライン591a、591b及び電源ライン531bに連結され、第3能動素子570cは、ゲートライン511、データライン521c、発光制御ライン591a、591b及び電源ライン531cに連結される。

#### 【0051】

一方、前記第1能動素子570aと接地VSSとの間には、第1画素P11のR、G、B - EL素子EL1\_\_R、EL1\_\_G、EL1\_\_Bのうち、R及びG - EL素子EL1\_\_R、EL1\_\_Gのアノード電極とカソード電極が連結され、第2能動素子570bと接地との間には、第1画素のB - EL素子EL1\_\_Bと第2画素のR、G、B - EL素子EL2\_\_R、EL2\_\_G、EL2\_\_Bのうち、R - EL素子EL2\_\_Rのアノード電極とカソード電極が連結され、第3能動素子570cと接地との間には、第2画素のG及びB - EL素子EL2\_\_G、EL2\_\_Bのアノード電極とカソード電極が連結される。

#### 【0052】

前述したような構成を有するピクセル回路は、隣接する二つの画素P11、P12のR、G、B - EL素子(EL1\_\_R、EL1\_\_G、EL1\_\_B)、(EL2\_\_R、EL2\_\_

10

20

30

40

50

G、E L 2 \_\_ B)のうち、二つのE L素子(E L 1 \_\_ R、E L 1 \_\_ G)、(E L 1 \_\_ B、E L 2 \_\_ R)、(E L 2 \_\_ G、E L 2 \_\_ B)がそれぞれの能動素子5 7 0 a、5 7 0 b、5 7 0 cを共有する。従って、一つの能動素子5 7 0 a、5 7 0 b、5 7 0 cを共有する二つのE L素子(E L 1 \_\_ R、E L 1 \_\_ G)、(E L 1 \_\_ B、E L 2 \_\_ R)、(E L 2 \_\_ G、E L 2 \_\_ B)は1フレームを構成するサブフレームごとに時分割的に駆動される。

【0053】

つまり、二つの画素P 1 1、P 1 2のR、G、B - E L素子(E L 1 \_\_ R、E L 1 \_\_ G、E L 1 \_\_ B)、(E L 2 \_\_ R、E L 2 \_\_ G、E L 2 \_\_ B)で、一つの能動素子5 7 0 a、5 7 0 b、5 7 0 cを共有する二つのE L素子(E L 1 \_\_ R、E L 1 \_\_ G)、(E L 1 \_\_ B、E L 2 \_\_ R)、(E L 2 \_\_ G、E L 2 \_\_ B)のうち、それぞれ一つのE L素子E L 1 \_\_ R、E L 1 \_\_ B、E L 2 \_\_ Gを第1 E L素子グループにグルーピングし、それぞれ残りの一つのE L素子E L 1 \_\_ G、E L 2 \_\_ R、E L 2 \_\_ Bを第2 E L素子グループにグルーピングする。従って、一つのサブフレームでは二つのE L素子グループのうち、第1 E L素子グループに属するE L素子E L 1 \_\_ R、E L 1 \_\_ B、E L 2 \_\_ Gを同時に駆動し、続いて次のサブフレームでは第2 E L素子グループに属するE L素子E L 1 \_\_ G、E L 2 \_\_ R、E L 2 \_\_ Bを同時に駆動する。

【0054】

従って、本発明では1フレームを二つのサブフレームに分け、隣接する二つの画素のR、G、B発光素子(E L 1 \_\_ R、E L 1 \_\_ G、E L 1 \_\_ B)、(E L 2 \_\_ R、E L 2 \_\_ G、E L 2 \_\_ B)のうち、二つの発光素子(E L 1 \_\_ R、E L 1 \_\_ G)、(E L 1 \_\_ B、E L 2 \_\_ R)、(E L 2 \_\_ G、E L 2 \_\_ B)をそれぞれの能動素子5 7 0 a、5 7 0 b、5 7 0 cによって一つのサブフレームでそれぞれ一つずつ同時に駆動し、次のサブフレームでそれぞれ一つずつ同時に駆動することによって、隣接する画素P 1 1、P 1 2が駆動されて所定の色を表示するようになる。

【0055】

図7は、図5に示された本発明の第1実施例による順次駆動方式の有機電界発光表示装置のピクセル回路のブロック構成図を示したものであり、図9は、図7のピクセル回路の詳細回路の第1例を示したものである。図7及び図9のピクセル回路は、隣接する二つの画素P 1 1、P 1 2のR、G、B - E L素子E L 1 \_\_ R、E L 1 \_\_ G、E L 1 \_\_ B、E L 2 \_\_ R、E L 2 \_\_ G、E L 2 \_\_ Bを1フレームの間、時分割的に順次駆動するためのピクセル回路の具体例を示したものである。

【0056】

図7及び図9を参照すると、第1表示手段5 6 0 aを駆動するための第1能動素子5 7 0 aは、第1駆動手段5 7 1 a及び第1順次制御手段5 7 5 aを備える。第1駆動手段5 7 1 aはゲートライン5 1 1にゲートが連結されソースがデータライン5 2 1 aに連結されるP型第1薄膜トランジスタM 5 1 aと、ソースが電源ライン5 3 1 aに連結されゲートが第1薄膜トランジスタM 5 1 aのドレーンに連結されるP型第2薄膜トランジスタM 5 2 aと、前記電源ライン5 3 1 aと第2薄膜トランジスタM 5 2 aのゲートに連結されるキャパシターC 5 1 aを備える。第1順次制御手段5 7 5 aは、ゲートに発光制御ライン5 9 1 aから発光制御信号E C \_\_ 1 1が印加され、ソースが前記第2薄膜トランジスタM 5 2 aのドレーンに連結されるP型第3薄膜トランジスタM 5 3 aと、ゲートに発光制御ライン5 9 1 bから発光制御信号E C \_\_ 2 1が印加され、ソースが前記第2薄膜トランジスタM 5 2 aのドレーンに連結されるP型第4薄膜トランジスタM 5 4 aを備える。第1表示手段5 6 0 aは、前記第3薄膜トランジスタM 5 3 aのドレーンと接地にアノード電極とカソード電極がそれぞれ連結される第1画素P 1 1のR - E L素子E L 1 \_\_ Rと、第4薄膜トランジスタM 5 4 aのドレーンと接地にアノード電極とカソード電極がそれぞれ連結される第1画素P 1 1のG - E L素子E L 1 \_\_ Gを備える。

【0057】

第2表示手段5 6 0 bを駆動するための第2能動素子5 7 0 bは、第2駆動手段5 7 1 b及び第2順次制御手段5 7 5 bを備える。第2駆動手段5 7 1 bは、ゲートライン5 1

10

20

30

40

50



1 にゲートが連結されソースがデータライン 5 2 1 b に連結される P 型第 1 薄膜トランジスタ M 5 1 b と、ソースが電源ライン 5 3 1 b に連結されゲートが第 1 薄膜トランジスタ M 5 1 b のドレーンに連結される P 型第 2 薄膜トランジスタ M 5 2 b と、前記電源ライン 5 3 1 b と第 2 薄膜トランジスタ M 5 2 b のゲートに連結されるキャパシタ C 5 1 b を備える。第 2 順次制御手段 5 7 5 b は、ゲートに発光制御ライン 5 9 1 a から発光制御信号 E C \_ 1 1 が印加され、ソースが前記第 2 薄膜トランジスタ M 5 2 b のドレーンに連結される P 型第 3 薄膜トランジスタ M 5 3 b と、ゲートに発光制御ライン 5 9 1 b から発光制御信号 E C \_ 2 1 が印加され、ソースが前記第 2 薄膜トランジスタ M 5 2 b のドレーンに連結される P 型第 4 薄膜トランジスタ M 5 4 b を備える。第 2 表示手段 5 6 0 b は、前記第 3 薄膜トランジスタ M 5 3 b のドレーンと接地にアノード電極とカソード電極がそれぞれ連結される第 1 画素 P 1 1 の B - E L 素子 E L 1 \_ B と、第 4 薄膜トランジスタ M 5 4 b のドレーンと接地にアノード電極とカソード電極がそれぞれ連結される第 2 画素 P 1 2 の R - E L 素子 E L 2 \_ R を備える。

10

#### 【 0 0 5 8 】

第 3 表示手段 5 6 0 c を駆動するための第 3 能動素子 5 7 0 c は、第 3 駆動手段 5 7 1 c 及び第 3 順次制御手段 5 7 5 c を備える。第 3 駆動手段 5 7 1 c は、ゲートライン 5 1 1 にゲートが連結されソースがデータライン 5 2 1 c に連結される P 型第 1 薄膜トランジスタ M 5 1 c と、ソースが電源ライン 5 3 1 c に連結されゲートが P 型第 1 薄膜トランジスタ M 5 1 c のドレーンが連結される P 型第 2 薄膜トランジスタ M 5 2 c と、前記電源ライン 5 3 1 c と第 2 薄膜トランジスタ M 5 2 c のゲートに連結されるキャパシタ C 5 1 c を備える。第 3 順次制御手段 5 7 5 c は、ゲートに発光制御ライン 5 9 1 a から発光制御信号 E C \_ 1 1 が印加され、ソースが前記第 2 薄膜トランジスタ M 5 2 c のドレーンに連結される P 型第 3 薄膜トランジスタ M 5 3 c と、ゲートに発光制御ライン 5 9 1 b から発光制御信号 E C \_ 2 1 が印加され、ソースが前記第 2 薄膜トランジスタ M 5 2 c のドレーンに連結される P 型第 4 薄膜トランジスタ M 5 4 c を備える。第 3 表示手段 5 6 0 c は、前記第 3 薄膜トランジスタ M 5 3 c のドレーンと接地にアノード電極とカソード電極がそれぞれ連結される第 2 画素 P 1 2 の G - E L 素子 E L 2 \_ G と、第 4 薄膜トランジスタ M 5 4 c のドレーンと接地にアノード電極とカソード電極がそれぞれ連結される第 2 画素 P 1 2 の B - E L 素子 E L 2 \_ B を備える。

20

#### 【 0 0 5 9 】

本発明の有機電界発光表示装置のピクセル回路の駆動方式を説明すると次のようになる。

30

#### 【 0 0 6 0 】

従来では図 1 8 に示されたように、多数のゲートラインにゲートライン駆動回路 1 1 0 から一つのスキャン信号 S 1 - S m がそれぞれ順に印加されて 1 フレームの間、m 個のスキャン信号が印加され、各スキャン信号 S 1 - S m が印加されるたびにデータライン駆動回路 1 2 0 から R、G、B データ信号 D R 1 - D R n、D G 1 - D G n、D B 1 - D B n が同時に R、G、B データラインに印加されて画素を駆動させる。

#### 【 0 0 6 1 】

これとは異なって、本発明では、1 フレームが 2 サブフレームに分けられ、各サブフレームの間、各ゲートラインにゲートライン駆動回路 5 1 0 からスキャン信号がそれぞれ印加されて、1 フレームの間に 2 m 個のスキャン信号が印加される。隣接する二つの画素の場合、つまり、第 1 画素 P 1 1 及び第 2 画素 P 1 2 の場合、第 1 サブフレームの間、第 1 ゲートライン 5 1 1 a にスキャン信号 S 1 が印加されると、第 1 駆動手段 5 7 1 a、第 2 駆動手段 5 7 1 b 及び第 3 駆動手段 5 7 1 c のスイッチングトランジスタ M 5 1 a - M 5 1 c がターンオンされ、データライン 5 2 1 a - 5 2 1 c から第 1 画素 P 1 1 の R データ信号 D 1 a と B データ信号 D 1 b、そして第 2 画素 P 1 2 の G データ信号 D 1 c が駆動トランジスタ M 5 2 a - M 5 2 c に提供される。この時、第 1 順次制御手段 5 7 5 a、第 2 順次制御手段 5 7 5 b 及び第 3 順次制御手段 5 7 5 c は、発光制御ライン 5 9 1 a から提供される発光制御信号 E C \_ 1 1 によって薄膜トランジスタ M 5 3 a - M 5 3 c が

40

50

ターンオンされるため、第1画素P11のRデータ信号D1aとBデータ信号D1b、そして第2画素P12のGデータ信号D1cに相応して第1画素のR-E L素子E L1\_\_R及びB-E L素子E L1\_\_Bと第2画素のG-E L素子E L2\_\_Gが同時に駆動される。

【0062】

次に、第2サブフレームの間、第1ゲートライン511にスキャン信号S1が印加されてデータライン521a-521cから第1画素P11のGデータ信号D1aと第2画素P12のRデータ信号D1b及びBデータ信号D1cが駆動トランジスタM52a-M52cに提供され、第1順次制御手段575a、第2順次制御手段575b及び第3順次制御手段575cは、発光制御ライン591bから提供される発光制御信号EC\_\_21によって薄膜トランジスタM54a-M54cがターンオンされるため、第1画素P11のGデータ信号D1aと第2画素P12のRデータ信号D1b及びBデータ信号D1cに相応して第1画素P11のG-E L素子E L1\_\_Gと第2画素P12のR-E L素子E L2\_\_R及びB-E L素子E L2\_\_B同時に駆動される。

【0063】

このように、隣接する二つの画素を構成するR、G、B-E L素子を二つのグループにグルーピングし、1フレームの間、各サブフレームでそれぞれのグループに属するE L素子を駆動することによって、1フレームの間、二つの画素のR、G、B-E L素子を時分割的に順次駆動することができる。つまり、図9を参照すると、第1画素P11及び第2画素P12のR、G、B-E L素子E L1\_\_R、E L1\_\_G、E L1\_\_B、E L2\_\_R、E L2\_\_G、E L2\_\_Bのうち、E L1\_\_R、E L1\_\_B、E L2\_\_Gを第1グループのE L素子でグルーピングし、E L1\_\_G、E L2\_\_R、E L2\_\_Bを第2グループにグルーピングして、第1サブフレームでは第1グループのE L素子E L1\_\_R、E L1\_\_B、E L2\_\_Bを、第2サブフレームでは第2グループE L1\_\_G、E L2\_\_R、E L2\_\_Bを駆動して画像をディスプレイする。本発明では、一つのサブフレームで互いに異なる色を有するE L素子が同時に発光するため、1サブフレーム内で互いに異なる二つ以上の色が発光するようになる。

【0064】

従って、本発明のピクセル回路は、隣接する二つの画素のR、G、B発光素子を二つのグループにグルーピングして能動素子570a-570cを共有するため、回路構成を単純化することができる。

【0065】

図10は、図7に示された本発明の第1実施例による有機電界発光表示装置において、画素部のピクセル回路の詳細回路の第2例を示したものである。図10は、図9に示された画素部の詳細回路とほぼ同一な構成を有する。但し、第1グループのE L素子を第1画素P11のR-E L素子E L1\_\_Rと第2画素P12のR及びG-E L素子E L2\_\_R、E L2\_\_Gでグルーピングし、第2グループのE L素子を第1画素P11のG及びB-E L素子E L1\_\_G、E L1\_\_Bと第2画素P12のB-E L素子E L2\_\_Bでグルーピングする。

【0066】

従って、1フレームのうち、第1サブフレームで第1グループのE L素子である第1画素P11のR-E L素子E L1\_\_Rと第2画素P12のR及びG-E L素子E L2\_\_R、E L2\_\_Gを同時に駆動し、第2グループのE L素子である第1画素P11のG及びB-E L素子E L1\_\_G、E L1\_\_Bと第2画素P12のB-E L素子E L2\_\_Bを同時に駆動する。

【0067】

図9及び図10は、同一な第1ゲートライン上に配列される第1画素P11及び第2画素P12のR、G、B-E L素子のグルーピングに対してのみ説明したが、図3に示されたように互いに隣接な画素間には前述したような同一な方法で隣接する二つの画素のE L素子が第1グループ及び第2グループの二つのグループにグルーピングされる。

【0068】

10

20

30

40

50

図12は、本発明の第1実施例による有機電界発光表示装置を時分割的に順次駆動する方法を説明するための動作波形図であり、各サブフレーム内でスキャンラインごとにEL素子を順に発光させる順次発光方式の動作波形図である。図12の動作波形図を参照して順次発光方式で有機電界発光表示装置を駆動させる方法を詳しく説明すると次のようになる。

【0069】

まず、一つのフレーム1Fのうち、第1サブフレーム1SFの間、ゲートライン駆動回路510から第1ゲートライン511にスキャン信号S1が印加されると、前記第1ゲートライン511が駆動され、データライン駆動回路520からデータ信号D1a - D1c ~ Dna - Dncとして第1ゲートライン511に連結された画素P11 - P12nのR、G、B - EL素子のうち、第1グループに属するEL素子を駆動させるためのデータ信号がそれぞれ該当する駆動トランジスターに提供される。

10

【0070】

この時、発光制御信号発生回路590から発光制御ライン591a、591bを通じてそれぞれロー及びハイ状態の発光制御信号EC\_\_11、EC\_\_21が印加されると、順次制御手段を構成する薄膜トランジスターのうち、前記第1グループに属するEL素子を制御するための薄膜トランジスターだけがターンオンされるため、前記データ信号D1a - D1c ~ Dna - Dncに相応な駆動電流が第1グループのEL素子に提供されて駆動される。

【0071】

20

続いて、一つのフレーム1Fのうち、第2サブフレーム2SFの間、第1ゲートライン511に二つ目のスキャン信号S1が印加されると、データライン521a - 521c ~ 521a - 52ncに第2グループに属するEL素子を駆動するためのデータ信号D1a - D1c ~ Dna - Dncがそれぞれ該当する駆動トランジスターに提供される。この時、発光制御信号発生回路590から発光制御ライン591a、591bを通じてそれぞれハイ状態及びロー状態の発光制御信号EC\_\_11、EC\_\_21が順次制御手段に印加されると、順次制御手段の薄膜トランジスターのうち、第2グループのEL素子を制御するための薄膜トランジスターがターンオンされて前記データ信号D1a - D1c ~ Dna - Dncに相応する駆動電流が第2グループのEL素子に提供されて駆動される。

【0072】

30

前述のような動作を繰り返して1フレームの各サブフレームごとにゲートライン511 - 51mにスキャン信号が印加されると、データライン521a - 521c ~ 52na - 52ncにデータ信号D1a - D1c ~ Dna - Dncが順に印加され、発光制御信号発生回路590から発光制御ライン591a、591bを通じてゲートライン511 - 51mに連結された画素P11 - P12n ~ Pm1 - Pm2nのうち隣接した二つの画素のR、G、B - EL素子を順に制御するための発光制御信号EC\_\_11、EC\_\_21 ~ EC\_\_1m、EC\_\_2mが順次制御手段に順に発生する。従って、1フレームのうち、一つ目のサブフレームでは順次制御手段の薄膜トランジスターのうち、第1グループのEL素子に対応する薄膜トランジスターがターンオンされてデータ信号D1a - D1c ~ Dna - Dncにより第1グループのEL素子が駆動され、二つ目のサブフレームでは順次制御手段の薄膜トランジスターのうち、第2グループのEL素子に対応する薄膜トランジスターがターンオンされてデータ信号D1a - D1c ~ Dna - Dncにより第2グループのEL素子が駆動される。

40

【0073】

前述したような有機電界発光表示装置の駆動方式は、1フレームを2サブフレームに分け、第1サブフレームでは第1ゲートライン511から第mゲートライン51mに連結された画素のうち隣接する二つの画素のR、G、B - EL素子のうち、第1グループにグルーピングされたEL素子を順に駆動させ、第2サブフレームでは第2グループにグルーピングされたEL素子を順に駆動させることにより、1フレーム内でサブフレームごとに、第1グループにグルーピングされたEL素子と第2グループにグルーピングされたEL素

50

子を順に駆動して画像をディスプレイするようになる。

【 0 0 7 4 】

図 1 4 は、本発明の第 1 実施例による有機電界発光表示装置を時分割的に順次駆動する方法を説明するための動作波形図であり、各サブフレーム内でスキャンラインに連結された E L 素子を一括発光させる一括発光方式の動作波形図である。図 1 4 の動作波形図を参照して一括発光方式で有機電界発光表示装置を駆動させる方法を詳細に説明すると次のようになる。

【 0 0 7 5 】

一括発光方法は、一つのフレーム 1 F を 2 サブフレーム 1 S F、2 S F に分割し、各サブフレーム 1 S F、2 S F をもう一度データ書き込み期間とピクセル発光区間とで区分する。第 1 サブフレーム 1 S F のデータ書き込み期間の間に、ゲートライン駆動回路 5 1 0 で第 1 ゲートライン 5 1 1 から第 m ゲートラインにスキャン信号 S 1 - S m が順に印加されると、前記第 1 ゲートライン 5 1 1 から第 m ゲートライン 5 1 m に連結される画素 P 1 1 - P 1 2 n ~ P m 1 - P m 2 n の R、G、B - E L 素子のうち、第 1 グループに属する E L 素子を駆動させるためのデータ信号 D 1 a - D 1 c ~ D 1 c - D n c がデータライン駆動回路 5 2 0 からそれぞれ該当する駆動トランジスターに順に提供される。

10

【 0 0 7 6 】

前述のように第 1 グループに属する E L 素子を駆動させるためのデータ書き込みが完了されると、第 1 サブフレームのピクセル発光期間の間、発光制御信号発生回路 5 9 0 からそれぞれロー状態の発光制御信号 E C \_\_ 1 1 - E C 1 m とハイ状態の発光制御信号 E C \_\_ 2 1 - E C \_\_ 2 m がそれぞれの発光制御ライン 5 9 1 a - 5 9 m a と 5 9 1 b - 5 9 m b に同時に提供されるので、順次制御手段を構成する薄膜トランジスターのうち、前記第 1 グループに属する E L 素子を制御するための薄膜トランジスターが同時にターンオンされる。従って、前記データ信号 D 1 a - D 1 c ~ D n a - D n c に相応な駆動電流が第 1 グループの E L 素子に同時に提供されて第 1 グループの E L 素子が一括的に同時に発光される。

20

【 0 0 7 7 】

続いて、第 2 サブフレーム 2 S F のデータ書き込み期間の間に、ゲートライン駆動回路 5 1 0 で第 1 ゲートライン 5 1 1 から第 m ゲートライン 5 1 m にスキャン信号 S 1 - S m が順に印加されると、前記第 1 ゲートライン 5 1 1 から第 m ゲートライン 5 1 m に連結される画素 P 1 1 - P 1 2 n ~ P m 1 - P m 2 n の R、G、B - E L 素子のうち、第 2 グループに属する E L 素子を駆動させるためのデータ信号 D 1 a - D 1 c ~ D n a - D n c がデータライン駆動回路 5 2 0 からそれぞれ該当する駆動トランジスターに順に提供する。

30

【 0 0 7 8 】

従って、第 2 グループに属する E L 素子を駆動させるためのデータ書き込みが完了されると、第 2 サブフレームのピクセル発光期間の間、発光制御信号発生回路 5 9 0 からそれぞれハイ状態の発光制御信号 E C \_\_ 1 1 - E C 1 m とロー状態の発光制御信号 E C \_\_ 2 1 - E C \_\_ 2 m がそれぞれ発光制御ライン 5 9 1 a - 5 9 m a と 5 9 1 b - 5 9 m b に同時に提供されるので、順次制御手段を構成する薄膜トランジスターのうち、前記第 2 グループに属する E L 素子を制御するための薄膜トランジスターが同時にターンオンされる。従って、前記データ信号 D 1 a - D 1 c ~ D n a - D n c に相応な駆動電流が第 2 グループの E L 素子に同時に提供されて第 2 グループの E L 素子が一括的に同時に発光される。従って、1 フレーム内で画像がディスプレイされる。

40

【 実施例 2 】

【 0 0 7 9 】

図 2 は、本発明の第 2 実施例による有機電界発光表示装置のブロック構成図を示したものであり、図 4 は、図 2 に示された有機電界発光表示装置の詳細ブロック図を示したものである。

【 0 0 8 0 】

図 2 及び図 4 を参照すると、第 2 実施例による有機電界発光表示装置 5 0 は、図 1 及び

50

図 3 に示した第 1 実施例による有機電界発光表示装置と同一である。但し、第 1 実施例では同一走査ラインに配列される画素 P 1 1 - P 1 2 n ~ P m 1 - P m 2 n にそれぞれ発光制御信号発生回路 5 9 0 からそれぞれの二つの発光制御ライン 5 9 1 a、5 9 1 b - 5 9 m a、5 9 m b を通じて発光制御信号 E C \_\_ 1 1、E C \_\_ 2 1 ~ E C \_\_ 1 m、E C \_\_ 2 m が提供される。一方、第 2 実施例では同一走査ラインに配列される画素 P 1 1 - P 1 2 n ~ P m 1 - P m 2 n に発光制御信号発生回路 5 9 0 から一つの発光制御ライン 5 9 1 - 5 9 m を通じて発光制御信号 E C \_\_ 1 ~ E C \_\_ 1 m がそれぞれ提供される。

#### 【 0 0 8 1 】

図 6 は、図 4 に示された本発明の第 2 実施例による有機電界発光表示装置において、隣接する二つの画素に対するピクセル回路を概略的に示したブロック構成図であり、図 8 は、図 6 のピクセル回路の詳細ブロック構成図を示したものである。図 1 1 は、図 6 及び図 8 に示したピクセル回路の詳細構成の一例を示したものである。このとき、図 6、図 8 及び図 1 1 は、多数の画素のうち、隣接する二つの画素、つまり、第 1 画素 P 1 1 及び第 2 画素 P 1 2 に限定して示したものである。

#### 【 0 0 8 2 】

図 6、図 8 及び図 1 1 を参照すると、隣接する二つの画素 P 1 1、P 1 2 は、R、G、B - E L 素子 ( E L 1 \_\_ R、E L 1 \_\_ G、E L 1 \_\_ B )、( E L 2 \_\_ R、E L 2 \_\_ G、E L 2 \_\_ B ) を備える表示素子 5 6 0 と、前記 R、G、B - E L 素子 ( E L 1 \_\_ R、E L 1 \_\_ G、E L 1 \_\_ B )、( E L 2 \_\_ R、E L 2 \_\_ G、E L 2 \_\_ B ) を駆動するための第 1 能動素子 5 7 0 a、第 2 能動素子 5 7 0 b 及び第 3 能動素子 5 7 0 c を備える。第 1 能動素子 5 7 0 a、第 2 能動素子 5 7 0 b 及び第 3 能動素子 5 7 0 c は、それぞれ第 1 駆動手段 5 7 1 a、第 2 駆動手段 5 7 1 b 及び第 3 駆動手段 5 7 1 c と順次制御手段 5 7 5 a - 5 7 5 c を備える。

#### 【 0 0 8 3 】

前記第 1 能動素子 5 7 0 a、第 2 能動素子 5 7 0 b 及び第 3 能動素子 5 7 0 c の第 1 駆動手段 5 7 1 a、第 2 駆動手段 5 7 1 b 及び第 3 駆動手段 5 7 1 c は、図 9 で示したように第 1 実施例のピクセル回路と同一な構成を有する。第 1 表示手段 5 6 0 a、第 2 表示手段 5 6 0 b 及び第 3 表示手段 5 6 0 c を備える表示素子 5 6 0 のグルーピング方式も、図 9 で示したように第 1 実施例のピクセル回路と同一である。

#### 【 0 0 8 4 】

前記第 1 能動素子 5 7 0 a の第 1 順次制御手段 5 7 5 a は、ゲートに発光制御ライン 5 9 1 を通じて提供される発光制御信号 E C \_\_ 1 が印加され、ソースが前記駆動手段 5 7 1 a の駆動トランジスタ M 5 2 a のドレーンに連結され、ドレーンが表示手段 5 6 0 a の E L 素子 E L 1 \_\_ R のアノード電極に連結される P 型薄膜トランジスタ M 5 3 a と、ゲートに発光制御ライン 5 9 1 を通じて提供される発光制御信号 E C \_\_ 1 が印加され、ドレーンが前記駆動手段 5 7 1 a の駆動トランジスタ M 5 2 a のドレーンに連結され、ソースが表示手段 5 6 0 a の E L 素子 E L 1 \_\_ G のアノード電極に連結される N 型薄膜トランジスタ M 5 4 a に構成される。

#### 【 0 0 8 5 】

前記第 2 能動素子 5 7 0 b の第 2 順次制御手段 5 7 5 b は、ゲートに発光制御ライン 5 9 1 を通じて提供される発光制御信号 E C \_\_ 1 が印加され、ソースが前記駆動手段 5 7 1 b の駆動トランジスタ M 5 2 b のドレーンに連結され、ドレーンが表示手段 5 6 0 b の E L 素子 E L 1 \_\_ B のアノード電極に連結される P 型薄膜トランジスタ M 5 3 b と、ゲートに発光制御ライン 5 9 1 を通じて提供される発光制御信号 E C \_\_ 1 が印加され、ドレーンが前記駆動手段 5 7 1 b の駆動トランジスタ M 5 2 b のドレーンに連結され、ソースが表示手段 5 6 0 b の E L 素子 E L 2 \_\_ R のアノード電極に連結される N 型薄膜トランジスタ M 5 4 b に構成される。

#### 【 0 0 8 6 】

前記第 3 能動素子 5 7 0 c の第 3 順次制御手段 5 7 5 c は、ゲートに発光制御ライン 5 9 1 を通じて提供される発光制御信号 E C \_\_ 1 が印加され、ソースが前記駆動手段 5 7 1

10

20

30

40

50

cの駆動トランジスタM52cのドレーンに連結され、ドレーンが表示手段560cのEL素子EL2\_\_Gのアノード電極に連結されるP型薄膜トランジスタM53cと、ゲートに発光制御ライン591を通じて提供される発光制御信号EC\_\_1が印加され、ドレーンが前記駆動手段571cの駆動トランジスタM52cのドレーンに連結され、ソースが表示手段560cのEL素子EL2\_\_Bのアノード電極に連結されるN型薄膜トランジスタM54cで構成される。

#### 【0087】

本発明の有機電界発光表示装置のピクセル回路の駆動方式を見ると、各順次制御手段575a-575cがP型薄膜トランジスタとN型薄膜トランジスタで構成され、一つの発光制御信号により制御されることだけが異なり、残りの動作は第1実施例のピクセル回路の駆動方式と同一である。

10

#### 【0088】

図13は、本発明の第2実施例による有機電界発光表示装置を時分割的に順次駆動する方法を説明するための動作波形図であり、各サブフレーム内でスキャンラインごとにEL素子を順に発光させる順次発光方式の動作波形図である。図13の動作波形図を参照して順次発光方式で有機電界発光表示装置を駆動させる方法を詳細に説明すると次のようである。

#### 【0089】

まず、一つのフレーム1Fのうち、第1サブフレーム1SFの間、ゲートライン駆動回路510から第1ゲートライン511にスキャン信号S1が印加されると、前記第1ゲートライン511が駆動され、データライン駆動回路520からデータ信号D1a-D1c~Dna-Dncとして第1ゲートライン511に連結される画素P11-P2nのR、G、B-EL素子のうち、第1グループに属するEL素子を駆動させるためのデータ信号がそれぞれ該当する駆動トランジスタに提供される。

20

#### 【0090】

このとき、発光制御信号発生回路590から発光制御ライン591を通じてロー状態の発光制御信号EC\_\_1が発生されると、順次制御手段を構成する薄膜トランジスタのうち、前記第1グループに属するEL素子を制御するためのP型薄膜トランジスタのみがターンオンされるので、前記データ信号D1a-D1c~Dna-Dncに相応な駆動電流が第1グループのEL素子に提供されて駆動される。

30

#### 【0091】

続いて、一つのフレーム1Fのうち、第2サブフレーム2SFの間、第1ゲートライン511に二番目のスキャン信号S1が印加されると、データライン521a-521c~52na-52ncに第2グループに属するEL素子を駆動するためのデータ信号D1a-D1c~Dna-Dncが提供され、第2グループに属するEL素子に対応する前記駆動トランジスタが駆動される。このとき、発光制御信号発生回路590から発光制御ライン591を通じてハイ状態の発光制御信号EC\_\_1が順次制御手段に印加されると、順次制御手段の薄膜トランジスタのうち、第2グループのEL素子を制御するためのN型薄膜トランジスタがターンオンされて、前記データ信号D1a-D1c~Dna-Dncに相応な駆動電流が第2グループのEL素子に提供されて駆動される。

40

#### 【0092】

前述のような動作を繰り返して、1フレームの各サブフレームごとにゲートライン511-51mにスキャン信号がされると、データライン521a-521c~52na-52ncにデータ信号D1a-D1c~Dna-Dncが順に印加され、発光制御信号発生回路590から発光制御ライン591を通じてゲートライン511-51mに連結される画素P11-P12n~Pm1-Pm2nのうち、隣接する二つの画素のR、G、B-EL素子を順に制御するための発光制御信号EC\_\_11-EC\_\_1mが順次制御手段に順に発生される。これによって、順次制御手段の薄膜トランジスタのうち、第1グループのEL素子に対応するP型薄膜トランジスタがターンオンされてデータ信号D1a-D1c~Dna-Dncによって第1グループのEL素子が駆動される。次に、サブフレーム

50

で順次制御手段の薄膜トランジスタのうち、第2グループのEL素子に対応するn型薄膜トランジスタがターンオンされてデータ信号D1a - D1c ~ Dna - Dncによって第2グループのEL素子が駆動される。

【0093】

図15は、本発明の第2実施例による有機電界発光表示装置を時分割的に順に駆動する方法を説明するための動作波形図であり、各サブフレーム内でスキャンラインに連結されるEL素子を一括発光させる一括発光方式の動作波形図である。図15の動作波形図を参照して一括発光方式で有機電界発光表示装置を駆動させる方法を詳細に説明すると次のようになる。

【0094】

第1サブフレーム1SFのデータ書き込み期間の間、ゲートライン駆動回路510で第1ゲートライン511から第mゲートライン51mにスキャン信号S1 - Smが順に印加されると、前記第1ゲートライン511から第mゲートライン51mに連結される画素P11 - P12n ~ Pm1 - Pm2nのR、G、B - EL素子のうち、第1グループに属するEL素子を駆動させるためのデータ信号D1a - D1c ~ Dna - Dncがデータライン駆動回路520からそれぞれ該当する駆動トランジスタに順に提供される。

【0095】

前述のように第1グループに属するEL素子を駆動させるためのデータ書き込みが完了されると、第1サブフレームのピクセル発光期間の間、発光制御信号発生回路590からロー状態の発光制御信号EC\_\_11 - EC1mが発光制御ライン591 - 59mに同時に提供されるので、順次制御手段を構成する薄膜トランジスタのうち、前記第1グループに属するEL素子を制御するための薄膜トランジスタが同時にターンオンされる。従って、前記データ信号D1a - D1c ~ Dna - Dncに相応な駆動電流が第1グループのEL素子に同時に提供されて第1グループのEL素子が一括的に同時に発光される。

【0096】

続いて、第2サブフレーム2SFのデータ書き込み期間の間に、ゲートライン駆動回路510で第1ゲートライン511から第mゲートライン51mにスキャン信号S1 - Smが順次印加されると、前記第1ゲートライン511から第mゲートライン51mに連結される画素P11 - P12n ~ Pm1 - Pm2nのR、G、B - EL素子のうち、第2グループに属するEL素子を駆動させるためのデータ信号D1a - D1c ~ Dna - Dncがデータライン駆動回路520からそれぞれ該当する駆動トランジスタに順に提供される。

【0097】

従って、第2グループに属するEL素子を駆動させるためのデータ書き込みが完了されると、第2サブフレームのピクセル発光期間の間、発光制御信号発生回路590からハイ状態の発光制御信号EC\_\_11 - EC1mとロー状態の発光制御信号EC\_\_21 - EC\_\_2mがそれぞれの発光制御ライン591 - 59mに同時に提供されるので、順次制御手段を構成する薄膜トランジスタのうち、前記第2グループに属するEL素子を制御するための薄膜トランジスタが同時にターンオンされる。従って、前記データ信号D1a - D1c ~ Dna - Dncに相応な駆動電流が第2グループのEL素子に同時に提供されて第2グループのEL素子が一括的に同時に発光される。従って、1フレーム内で画像がディスプレイされる。

【0098】

前述で説明したように、本発明の第1実施例及び第2実施例による有機電界発光表示装置の駆動方式は、1フレームを2サブフレームに分割し、第1サブフレームでは第1ゲートライン511から第mゲートライン51mに連結される画素のうち、隣接する二つの画素のR、G、B - EL素子のうち、第1グループにグルーピングされるEL素子を順次または、一括駆動させ、第2サブフレームでは第2グループにグルーピングされるEL素子を順次または、一括駆動させることによって、1フレーム内でサブフレームごとに第1グループにグルーピングされるEL素子と第2グループにグルーピングされるEL素子を時

10

20

30

40

50

分割的に駆動して画素をディスプレイするようになる。

【0099】

本発明の実施例では、隣接する二つの画素のR、G、B-E L素子を二つのグループに分類して各サブフレームごとに時分割的に駆動するが、このとき、第1グループに属するE L素子と第2グループに属するE L素子のグルーピングは任意に変更可能であり、第1グループ及び第2グループのE L素子の駆動順序も変更可能である。

【0100】

また、本発明の有機電界発光表示装置は、R、G、B-E L素子の発光時間を調節してホワイトバランスを調節することができるが、順次制御手段の薄膜トランジスタがターンオンされる時間、つまり、発光制御信号のデューティ比を調節してR、G、B-E L素子の発光時間を調節することによってホワイトバランスが調節できる。

10

【0101】

本発明の第1実施例及び第2実施例では、第1駆動手段571a、第2駆動手段571b及び第3駆動手段571cがスイッチングトランジスタと駆動トランジスタの二つの薄膜トランジスタと一つのキャパシタで構成されたが、前記表示手段560を構成する発光素子を駆動することができる構造はすべて可能であり、表示手段560の発光素子を駆動する駆動特性を向上させるすべての手段、例えば、スレッシュホールド電圧補償手段などが追加されることができる。また、第1駆動手段571a、第2駆動手段571b及び第3駆動手段571cを構成する薄膜トランジスタがすべてP型薄膜トランジスタで構成されたが、N型薄膜トランジスタまたは、N型薄膜トランジスタとP型薄膜トランジスタが混合された形態で構成可能であり、また、ディプリションモード(depletion mode)または、インハンスメントモード(enhancement mode)のN型または、P型薄膜トランジスタとして構成することも可能である。また、駆動手段571a-571cを薄膜トランジスタで構成する代わりに薄膜ダイオード(TFD、thin film diode)、ダイオード、TRS(Triodic rectifier switch)等のような多様な形態のスイッチング素子を使用できる。

20

【0102】

前記第1順次制御手段575a、第2順次制御手段575b及び第3順次制御手段575cは、P型薄膜トランジスタだけで構成されるかまたは、N型とP型薄膜トランジスタの組み合わせで構成されたが、N型または、P型薄膜トランジスタを他の形態で組み合わせで構成できるだけではなく薄膜トランジスタをディプリションモードまたは、インハンスメントモードのN型薄膜トランジスタまたは、P型薄膜トランジスタで構成することも可能である。また、順次制御手段575a、575b、575cを薄膜トランジスタで構成する代わりに薄膜ダイオード(TFD、thin film diode)、ダイオード、TRS等のような多様な形態のスイッチング素子を使用でき、R、G、B-E L素子を順に駆動させる多様な形態として構成することも可能である。

30

【0103】

本発明の実施例では、一つの能動素子を利用して駆動されるR、G、B発光素子としてR、G、B-E L素子を例示したが、本発明の実施例のように一つの能動素子を利用してR、G、B発光素子を駆動する方式をFED(field emission display)等のような発光素子にも適用できる。

40

【0104】

前述では、本発明の望ましい実施例を参照して説明したが、当該技術分野の熟練した当業者は、前記の特許請求の範囲に記載された本発明の思想及び領域から外れない範囲内で、本発明を多様に修正及び変更されることが理解できるだろう。

【図面の簡単な説明】

【0105】

【図1】本発明の第1実施例による有機電界発光表示装置を示すブロック構成図である。

【図2】本発明の第2実施例による有機電界発光表示装置を示すブロック構成図である。

50



【図 3】図 1 の本発明の第 1 実施例による有機電界発光表示装置の画素部を示す構成図である。

【図 4】図 2 の本発明の第 2 実施例による有機電界発光表示装置の画素部を示す構成図である。

【図 5】図 1 の本発明の第 1 実施例による有機電界発光表示装置のピクセル回路の示すブロック構成図である。

【図 6】図 2 の本発明の第 2 実施例による有機電界発光表示装置のピクセル回路を示すブロック構成図である。

【図 7】図 5 の本発明の第 1 実施例による有機電界発光表示装置のピクセル回路を示す詳細ブロック構成図である。

10

【図 8】図 6 の本発明の第 2 実施例による有機電界発光表示装置のピクセル回路を示す詳細ブロック構成図である。

【図 9】図 7 の本発明の第 1 実施例による有機電界発光表示装置のピクセル回路の第 1 例を示す図である。

【図 10】図 7 の本発明の第 1 実施例による有機電界発光表示装置のピクセル回路の第 2 例を示す図である。

【図 11】図 8 の本発明の第 2 実施例による有機電界発光表示装置のピクセル回路の第 1 例を示す図である。

【図 12】本発明の第 1 実施例による有機電界発光表示装置のピクセル回路を順次発光駆動方式で駆動する場合の動作波形図である。

20

【図 13】本発明の第 2 実施例による有機電界発光表示装置のピクセル回路を一括発光駆動方式で駆動する場合の動作波形図である。

【図 14】本発明の第 1 実施例による有機電界発光表示装置のピクセル回路を順次発光駆動方式で駆動する場合の動作波形図である。

【図 15】本発明の第 2 実施例による有機電界発光表示装置のピクセル回路を一括発光駆動方式で駆動する場合の動作波形図である。

【図 16】通常の有機電界発光表示装置を示す構成図である。

【図 17】図 16 の有機電界発光表示装置のピクセル回路を示す構成図である。

【図 18】図 16 の有機電界発光表示装置を示す動作波形図である。

30

【符号の説明】

【0106】

500 画素部

510 ゲートライン駆動回路

511 - 51m ゲートライン

520 データライン駆動回路

521a - 521c ~ 52na - 521c データライン

531a - 531c ~ 53na - 53nc 電源ライン

560a、560b、560c 表示手段

570a、570b、570c 能動素子

571a、571b、571c 駆動手段

40

575a、575b、575c 順次制御手段

590、591 - 1 発光制御信号発生回路

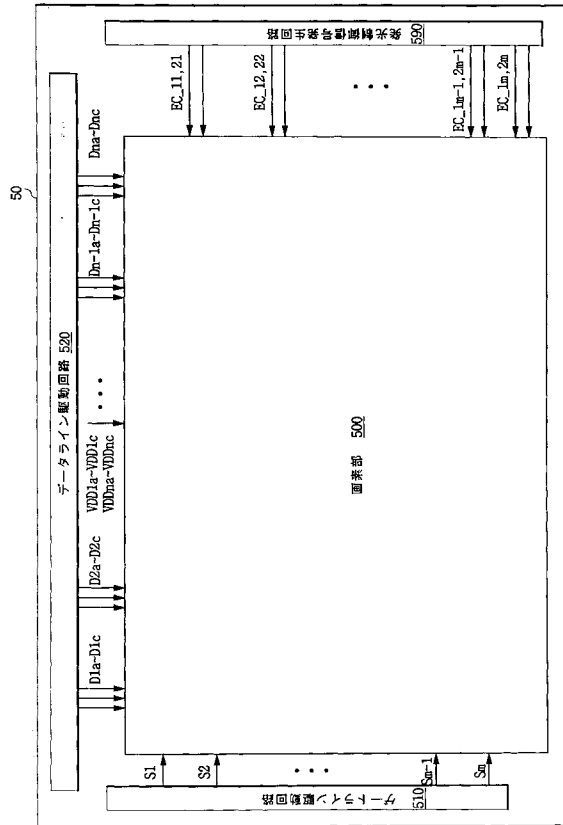
591a、591b ~ 59ma、59mb、591 - 59m 発光制御ライン

P11 - Pm2n 画素

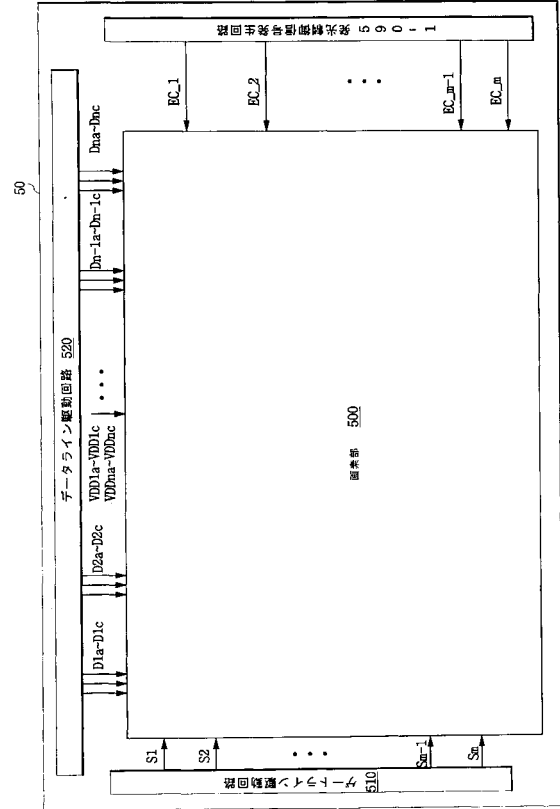
EL1\_\_R、EL1\_\_G、EL1\_\_B、EL2\_\_R、EL2\_\_G、EL2\_\_B R、G

、B - EL素子

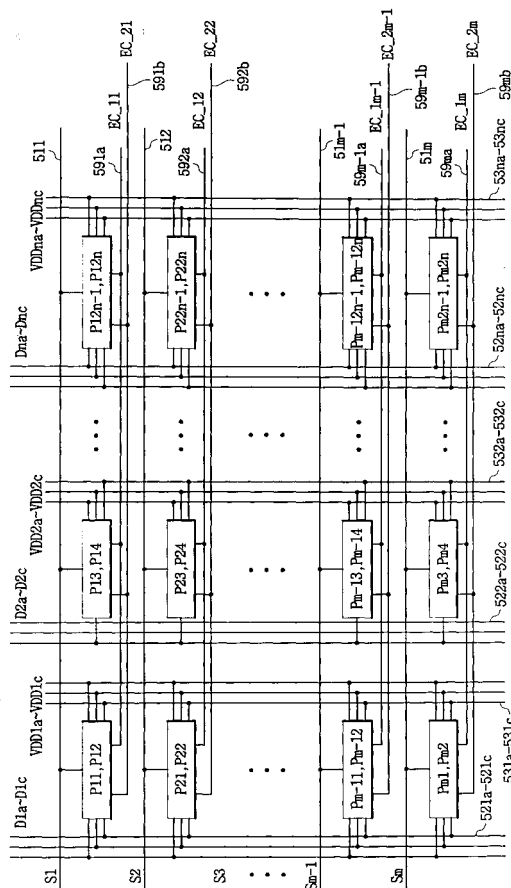
【図 1】



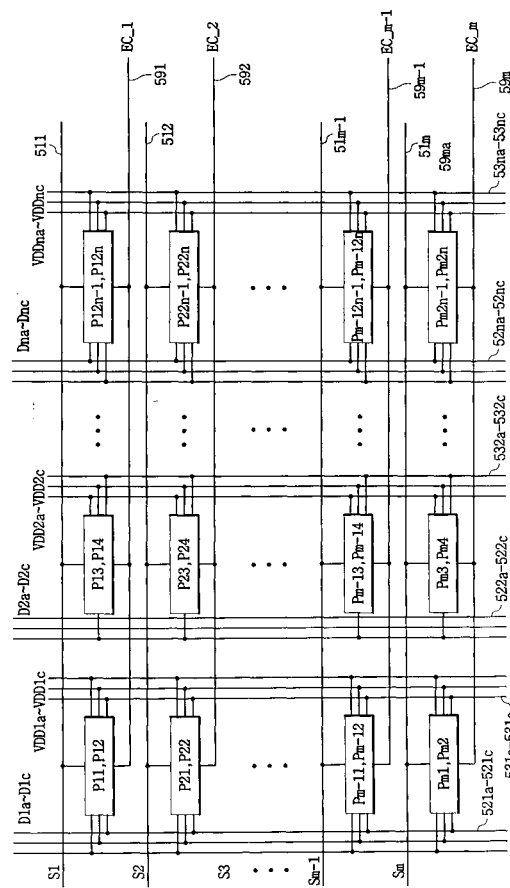
【図 2】



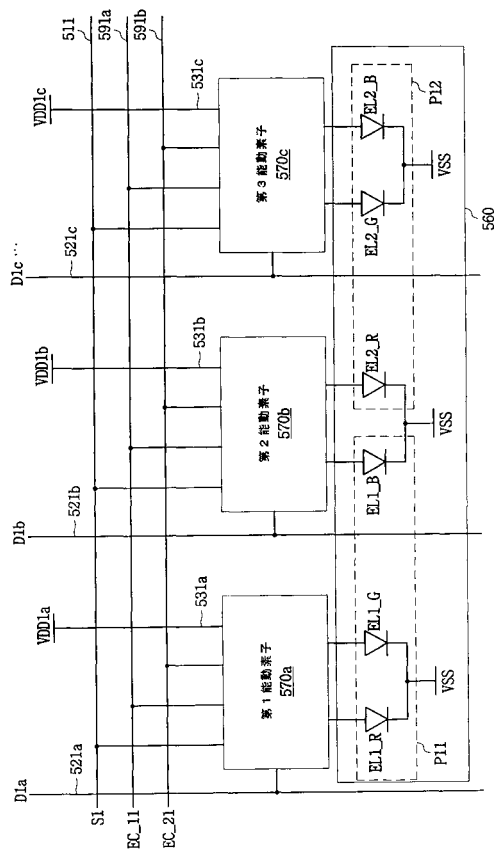
【図 3】



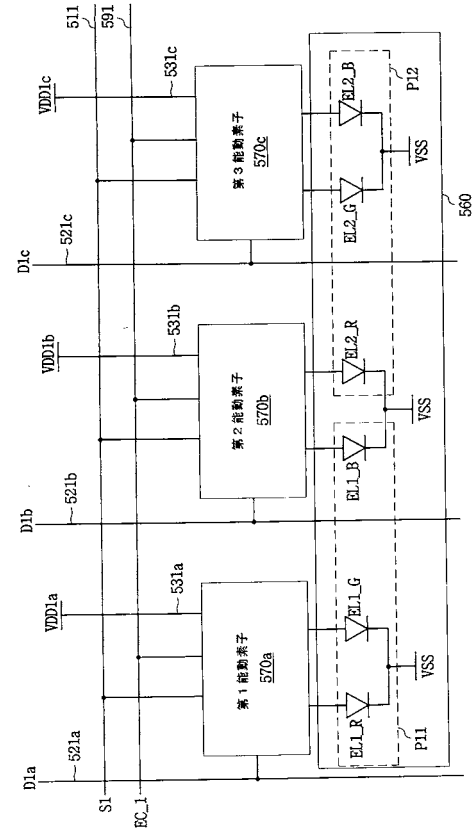
【図 4】



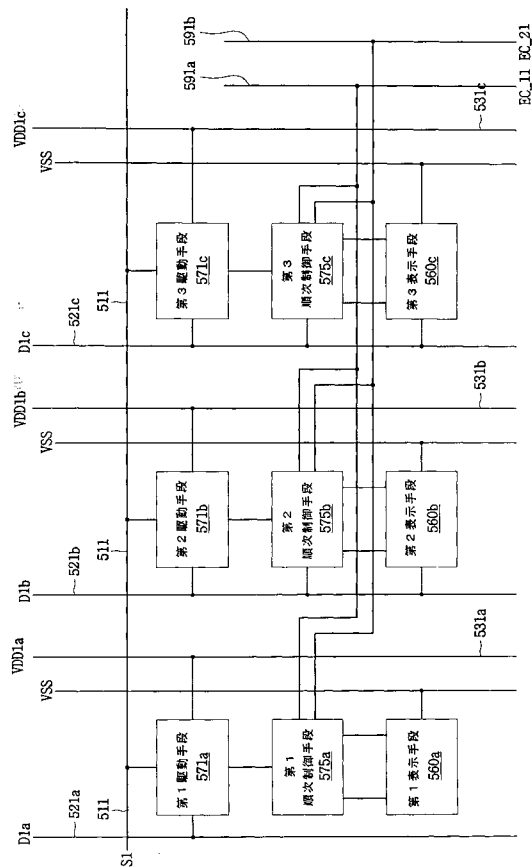
【図 5】



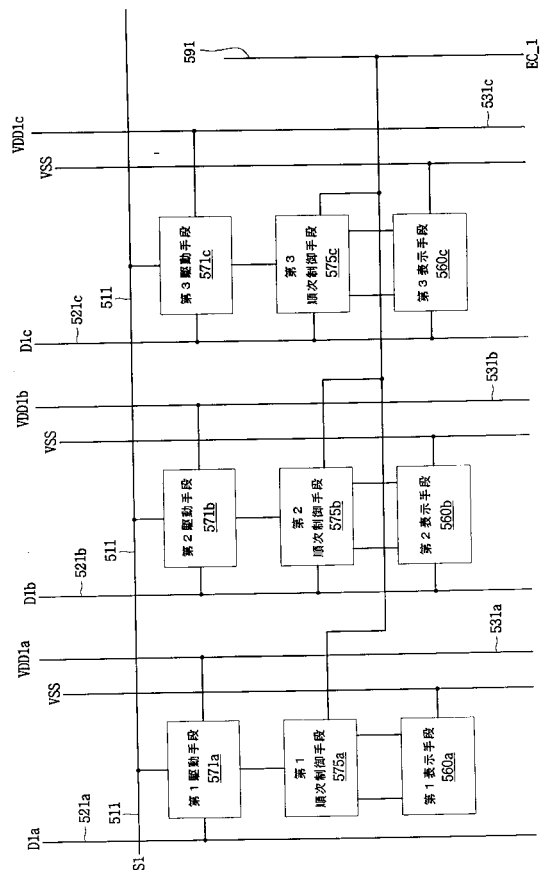
【図 6】



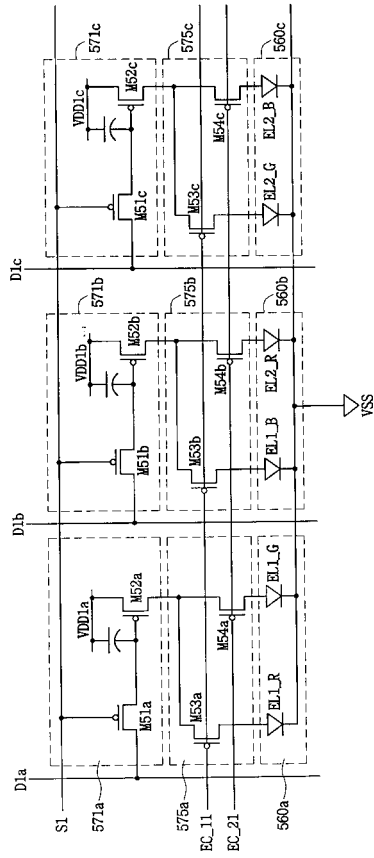
【図 7】



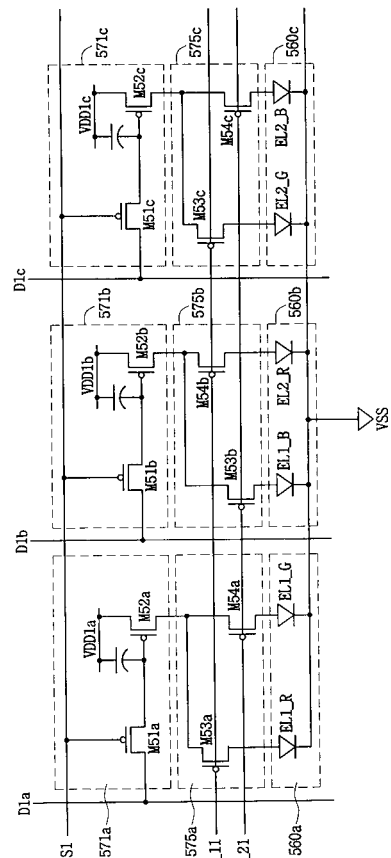
【図 8】



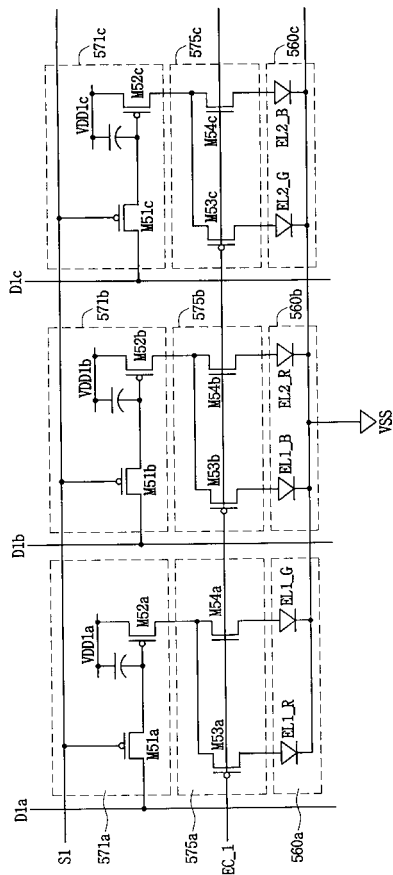
【図 9】



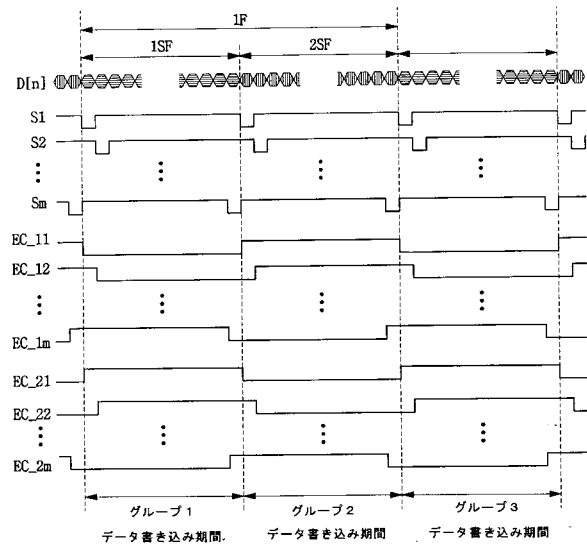
【図 10】



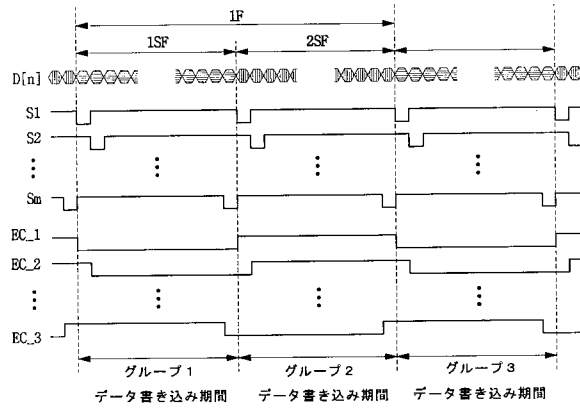
【図 11】



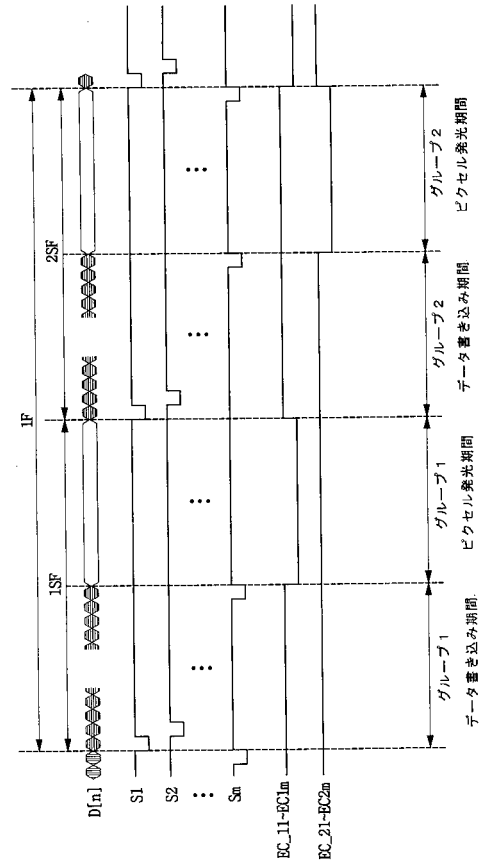
【図 12】



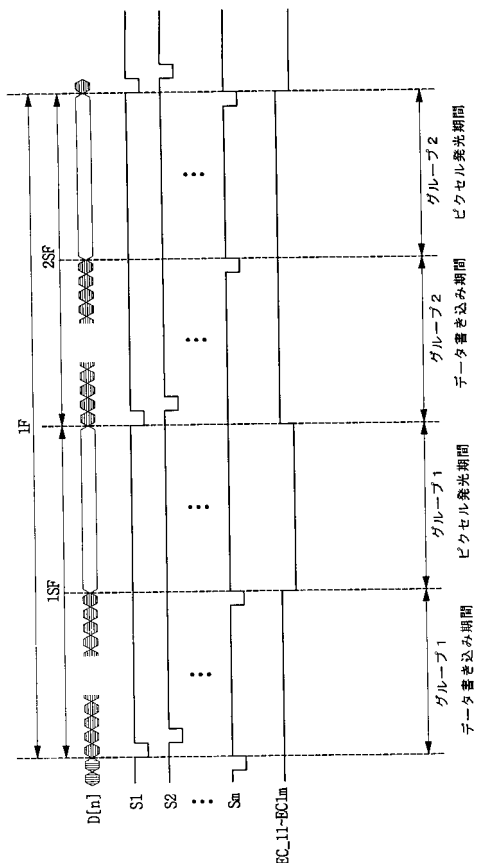
【図 13】



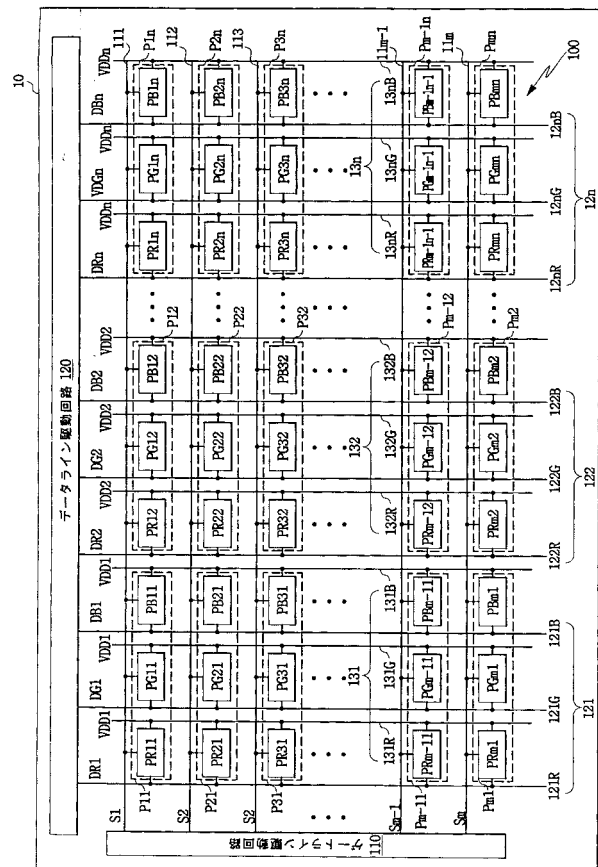
【図 14】



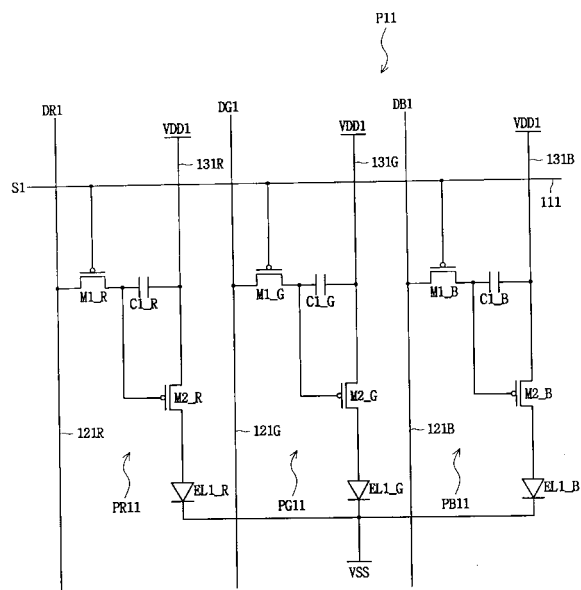
【図 15】



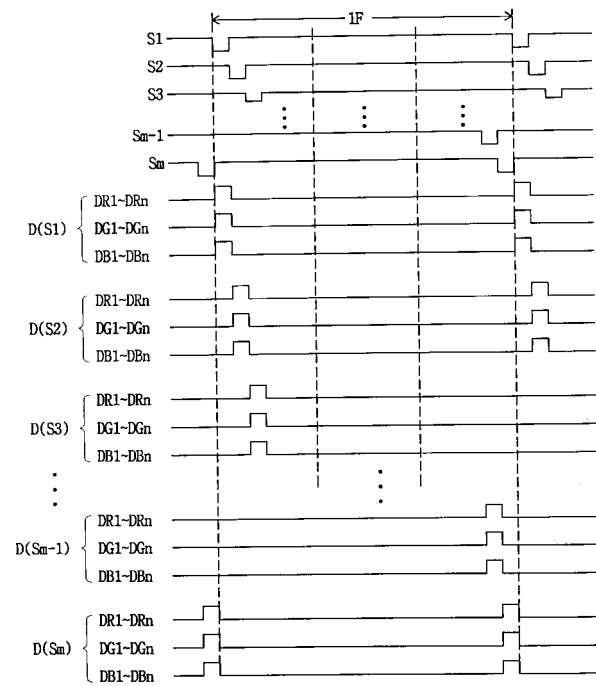
【図 16】



【図 17】



【図 18】



---

 フロントページの続き

(51)Int.Cl.	F I		
	G 0 9 G	3/20	6 4 2 L
	G 0 9 G	3/22	E
	H 0 5 B	33/14	A

(56)参考文献 特開平 0 9 - 1 3 8 6 5 9 ( J P , A )  
 特開 2 0 0 3 - 2 5 5 8 9 9 ( J P , A )  
 国際公開第 0 3 / 0 3 8 7 9 3 ( W O , A 1 )  
 国際公開第 0 1 / 0 0 6 4 8 4 ( W O , A 1 )  
 特開 2 0 0 2 - 2 9 7 0 8 3 ( J P , A )  
 国際公開第 0 3 / 0 9 1 9 7 7 ( W O , A 1 )  
 特開 2 0 0 3 - 1 0 8 0 3 2 ( J P , A )  
 特開 2 0 0 2 - 1 4 9 1 1 2 ( J P , A )  
 特開 2 0 0 1 - 0 6 0 0 7 6 ( J P , A )  
 特開 2 0 0 3 - 1 2 2 3 0 6 ( J P , A )  
 特開 2 0 0 3 - 0 9 9 0 0 0 ( J P , A )  
 特表 2 0 0 3 - 5 1 0 6 6 1 ( J P , A )  
 特表 2 0 0 5 - 5 2 0 1 9 3 ( J P , A )  
 特開 2 0 0 2 - 0 4 0 9 9 0 ( J P , A )  
 特開 2 0 0 2 - 2 1 5 0 9 3 ( J P , A )  
 特開 2 0 0 3 - 1 9 5 8 1 1 ( J P , A )

(58)調査した分野(Int.Cl. , D B 名)  
 G 0 9 G 3 / 0 0 - 3 / 3 8  
 H 0 5 B 3 3 / 0 0 - 3 3 / 2 8  
 G 0 9 F 9 / 3 0 - 9 / 4 6

专利名称(译)	显示装置，有机发光显示装置		
公开(公告)号	<a href="#">JP4295163B2</a>	公开(公告)日	2009-07-15
申请号	JP2004131246	申请日	2004-04-27
[标]申请(专利权)人(译)	三星斯笛爱股份有限公司		
申请(专利权)人(译)	三星エスディアイ株式会社		
当前申请(专利权)人(译)	三星移动显示的股票会社		
[标]发明人	申東蓉		
发明人	申 東 蓉		
IPC分类号	G09G3/30 G09G3/20 G09G3/22 H01L51/50 G09G3/32		
CPC分类号	G09G3/3233 G09G3/22 G09G2300/0452 G09G2300/0465 G09G2300/0804 G09G2300/0814 G09G2300/0842 G09G2310/0235 G09G2320/0606 G09G2320/0666		
FI分类号	G09G3/30.H G09G3/30.K G09G3/20.624.B G09G3/20.641.A G09G3/20.641.E G09G3/20.642.L G09G3/22.E H05B33/14.A G09G3/3233 G09G3/3266 G09G3/3275		
F-TERM分类号	3K007/AB02 3K007/AB18 3K007/BA06 3K007/DB03 3K007/GA00 3K107/AA01 3K107/BB01 3K107/CC08 3K107/CC35 3K107/CC36 3K107/CC45 3K107/EE04 3K107/EE07 3K107/HH04 3K107/HH05 5C080/AA06 5C080/AA18 5C080/BB05 5C080/CC03 5C080/DD07 5C080/EE29 5C080/FF07 5C080/FF11 5C080/HH09 5C080/JJ02 5C080/JJ03 5C080/JJ04 5C380/AA01 5C380/AB06 5C380/AB12 5C380/AB13 5C380/AB29 5C380/AB34 5C380/AB36 5C380/BB12 5C380/BB14 5C380/CA08 5C380/CA10 5C380/CA49 5C380/CA53 5C380/CB01 5C380/CB26 5C380/CB31 5C380/CC02 5C380/CC26 5C380/CC33 5C380/CC39 5C380/CC51 5C380/CC58 5C380/CC61 5C380/CC62 5C380/CC64 5C380/CD014 5C380/DA02 5C380/DA06 5C380/DA09 5C380/HA17 5C380/HA18		
代理人(译)	三好秀		
审查员(译)	中村直之		
优先权	1020030084235 2003-11-25 KR		
其他公开文献	JP2005157258A		
外部链接	<a href="#">Espacenet</a>		

#### 摘要(译)

要解决的问题：提供有机电致发光显示装置的像素电路，并提供其驱动方法。ŽSOLUTION：显示装置包括具有两个或更多个发光元件的多个像素。来自多个像素中的两个相邻像素的两个或更多个发光元件中的部分发光元件被分组为第一发光元件组EL1\_R，EL1\_B和EL2\_G，并且其余的发光元件是分组为第二发光元件组EL1\_G，EL2\_R和EL2\_B。第一发光元件组EL1\_R，EL1\_B和EL2\_G以及第二发光元件组EL1\_G，EL2\_R和EL2\_B在固定的时间段内连续驱动，以实现固定部分内的规定颜色。固定部分是单个帧，并且单个帧被分成两个子帧。在每个子帧以时分方式驱动第一发光元件组EL1\_R，EL1\_B和EL2\_G以及第二发光元件组EL1\_G，EL2\_R和EL2\_B。Ž



